Pioneer

ＤＶＤプレーヤー

DVD-V730

取扱説明書





安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

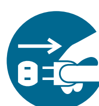
絵表示の例



△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

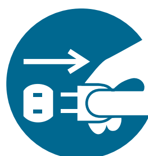


● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）

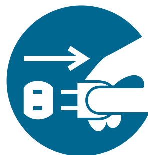


警告［異常時の処理］



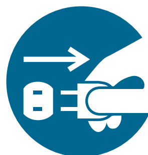
プラグを抜け

●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け

●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

製品の機能と特徴

1. 高信頼性、高耐久性のプレーヤー

高性能なブラシレス・スピンドルモーターを採用。また光学部品を熱や埃からシールドして信頼性を向上させました。

2. NTSC/PAL デュアル再生

DVDディスクにおいてNTSC方式、PAL方式どちらのディスクも再生することができます。（79ページ）

3. フレームサーチ機能

フレームサーチ機能を使用すると、チャプターや時間でサーチするより細かな単位でサーチができ、任意の点を探すことができます。(14 ページ)
フレームセグメント再生を使用すると映像の任意の点から任意の点まで再生して、最後に静止画にすることができます。（55 ～ 56 ページ）

- ●マルチ PGC（時間情報の OSD が表示されない）ディスクやビデオCD等ではフレームサーチ機能は使用できません。「フレームセグメント再生」については DVD バーコード、RS-232C 制御、BC/ コマンドスタックで可能です。

4. 高速サーチ

1.3 倍速読み出し、メモリーキャッシュ、サーチアルゴリズムの改善を行いサーチスピードを高速化しました。（13 ～ 14 ページ）

5. 充実した特殊再生

本機では DVD やビデオ CD の再生速度を様々に変えることができます。前方向、逆方向のスロー再生、スキャン再生、コマの送り／戻しを自由に選ぶことができます。
（12、14 ～ 15 ページ）

- ●逆スロー再生を行うには ADV.SETUP メニューの REV STEP/REV PLAY の項で Frame を選択してください。ビデオ CD では前方向のみのスロー再生が可能です。

6. マウスによるプレーヤーコントロール機能

リモコンの代わりにPS/2＊マウスを使用しプレーヤーをコントロールできます。また映像の特定部分を指し示すポインティングとしても使用できます。（43ページ）

＊ PS/2 は IBM 社の登録商標です。

7. WEEKLY TIMER/POWER ON START 機能

１週間の中で曜日ごと、あるいは１日のなかで時間帯ごとに電源の ON/OFF及びディスクの中の再生映像を設定できます。バーコード／コマンド・スタックと組み合わせてプログラム再生も可能です。WEEKLY TIMER は、同じ曜日に最大 24 回までON/OFF の時間が設定できます。（44、52 ページ）

8. バーコード／コマンド・スタック

本機ではプレーヤーの再生をコントロールするセグメントコマンドやバーコードをあらかじめ入力しておくと、次々と映像を切り換えて再生します。デモンストレーションや説明等で使用すると大変便利です。また RS-232Cから設定した内容のアップロード／ダウンロードが可能です。（53 ページ）

- ●専用のアプリケーションを利用するとアップロード／ダウンロードが簡単に行えます。

9. 外部とのインターフェース

(RS-232C、外部オプションスイッチ)

DVD やビデオ CD、CD にも対応した RS-232C コマンドを持っています。これらのプロトコルは LD（レーザーディスク）のものともほぼ互換があり LD からの置き換えも簡単にできます。
インターフェースコネクターの RS-232C 以外の端子部に外部オプションスイッチ用の端子を装備しました。この端子部分にスイッチを接続するだけで、DVD-VIDEO のメニュー選択やバーコード／コマンド・スタックの呼び出しおよびリモコンと同等操作が可能です。

- ●インターフェイスコネクター端子の詳細な説明や RS-232C の制御コマンドについては「ユーザーズマニュアル」をご覧ください。なおユーザーズマニュアルについては当社営業窓口にお問い合わせください。

10. ビデオブラックボード機能

DVD 映像画面の任意の場所に図形や文字をあらかじめ書いておくことにより、再生時に図形や文字が現れます。この機能によりデモンストレーションや説明を効果的に行うことができます。（71 ページ）

11. レーザー・バーコード・コンパチブル対応

LD（レーザーディスク）で使用してきたレーザーバーコードの体系をそのまま DVD に拡張しました。今まで使用のバーコードスキャナー、バーコードリーダーがそのまま使用できます。（59 ページ）

12. ビデオテキスト機能

マウスで再生画面上のボタンをクリックすると、そのボタンに対応したテキストファイルを画面に表示する機能です。
ビデオテキスト対応ディスクのみ可能です。
ビデオテキスト機能は、弊社オリジナルフォーマットです。（77 ページ）

13. 外部同期機能

入力された同期信号に合わせて映像信号を出力します。
（77 ページ）

ご使用のまえに

パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

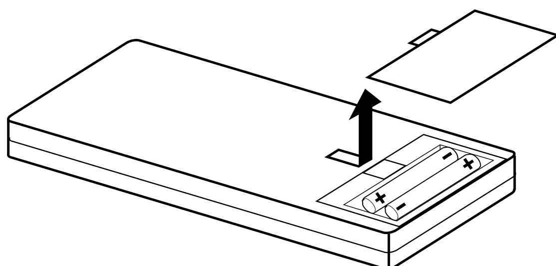
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒にかならず保管してください。

付属品を確認する

オーディオコード 1
ビデオコード 1
電源コード 1
リモートコントロールユニット（リモコン）............ 1
単３形（R6P）乾電池 2
保証書 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
取扱説明書 1
安全上のご注意 1
バーコードシート 1

リモコンに乾電池を入れる

裏ブタを開けて単３形乾電池を入れます



- 乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きを乾電池の表示通りに入れてください。

ご注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（１ヵ月以上）使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために乾電池を取り出してください。
  もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

目次

基本操作

設定

応用操作

接続など

使用上のご注意

設置について

●水平で安定した場所に置いて使用してください。
ぐらつく場所、不安定な場所、振動の大きい場所でのご使用は避けてください。
●放熱は妨げないでください。
毛足の長い敷物の上などでのご使用は避けてください。また本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因になります。
●本機の上に物は乗せないでください。
●熱を受けない所に設置してください。
アンプなど、熱を発生する機器の上でのご使用は避けてください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の通風の良い棚に入れるようにしてください。
●ラックに収納して使用する場合、内部温度上昇を避けるための配慮が必要です。ボンネット上と下の通気口を妨げることのないように配置します。
目安としては下からの熱がない状態で左右と上を 10cm 以上あけて空気の自然対流が行えるようにしてください。（室温 35℃以下にて）
上記以外の条件では機器が十分暖まった状態で、ボンネット中央の 5cm の上空ポイントで必ず 35℃以下になるようにご使用ください。必要に応じて強制空冷を施しご使用ください。
●本機を複数台並行して、外部から電源を入／切するときは、突入電流が大きくなります。電源スイッチの定格等を弊社営業窓口に問い合わせてからご使用ください。
●密閉されたラックに入れないでください。発熱により故障の原因となります。

使用環境について

動作環境温度・湿度　＋５℃～＋３５℃　８５%RH 以下（通気口を妨げない条件にて）

■ 設置禁止場所

・太陽光線や強力ライトが直接当たる場所
・埃や煙の多い場所
・振動のあるところ
・強電界や強磁界の場所
・熱源のそば
・電気的なノイズの多い場所
・静電ノイズの発生しやすい場所
・湿気の多い場所や風通しの悪い場所
・密閉されたラック

著作権について

●ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

輸送について

本機を輸送する際には、必ず製品付属の梱包箱を用いて振動や衝撃が加えられたり、落下したりしないようにしてください。輸送中に本機が熱を受けたり、水などがかかったりしないようにしてください。
また、輸送に先立ってディスクは必ず取り出してください。ディスクを入れたまま輸送するとディスクにキズを付けたり、プレーヤー内部を破損することがあります。

特に注意していただきたいこと

再生中のプレーヤーを動かさないでください。再生中、ディスクは高速で回転しています。このときプレーヤーを持ち上げたり、移動したりするとディスクに傷を付けます。また、ディスクがセットされた状態で強い振動、衝撃が加わると、プレーヤー又はディスクが破損することがあります。プレーヤーを移動するときには、再生をやめディスクを取り出してください。また、プレーヤーを持ち運ぶ際にも必ずディスクは取り出してください。

本機は精密な光学部品を搭載しています。設置されている室内の温度や埃の管理には十分ご注意ください。

ディスクの取り扱いかた

■ 取り扱いかた

●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
●ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
●ディスクに紙やシールを貼り付けないでください。
●のりなどがはみ出した場合、故障の原因になります。特に、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してから、ご使用ください。

■ 保管

●必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
●ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

●ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください(円周に沿って拭かないでください)。
●ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
●ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
●汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

■ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミや埃がたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は「保証とアフターサービス」（87ページ）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

本機で再生できるディスクの種類

●本機は下表のディスクをアダプターなしで、再生することができます。
●下表に表示されているマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。
●本機はNTSC（日本のテレビ方式）とPALに適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」または「PAL」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面
DVDビデオ DVD VIDEO	DVDビデオ 12cm/片面　1層 　　　　　　2層 12cm/両面　1層 　　　　　　2層 DVDビデオ 8cm/片面　1層 　　　　　　2層 8cm/両面　1層 　　　　　　2層
ビデオCD COMPACT disc DIGITAL VIDEO	ビデオCD　12cm/片面 ビデオCD シングル　8cm/片面
CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD　12cm/片面 CDシングル　8cm/片面
F-Disc(エフディスク)* エフディスク Fisc	DVDビデオ　12cm/片面

*（株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです(18、86ページ)。

- **下記のディスクは再生できません。**
  DVDオーディオ、DVD-ROM、CD-ROM、リージョンNo.（86ページ）が本機と異なるDVDなど。
- **8cmアダプター（CD用）は使わないでください。**

■ DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
②))	音声の数を表します。
2	字幕言語の数を表します。
3	アングル数を表します。
16：9 LB	選択可能な画像アスペクト比を表します。
2 ALL	再生可能な地域番号を表します。本機は地域番号「2」が含まれているディスク、または「ALL」と表記されたディスクの再生ができます。

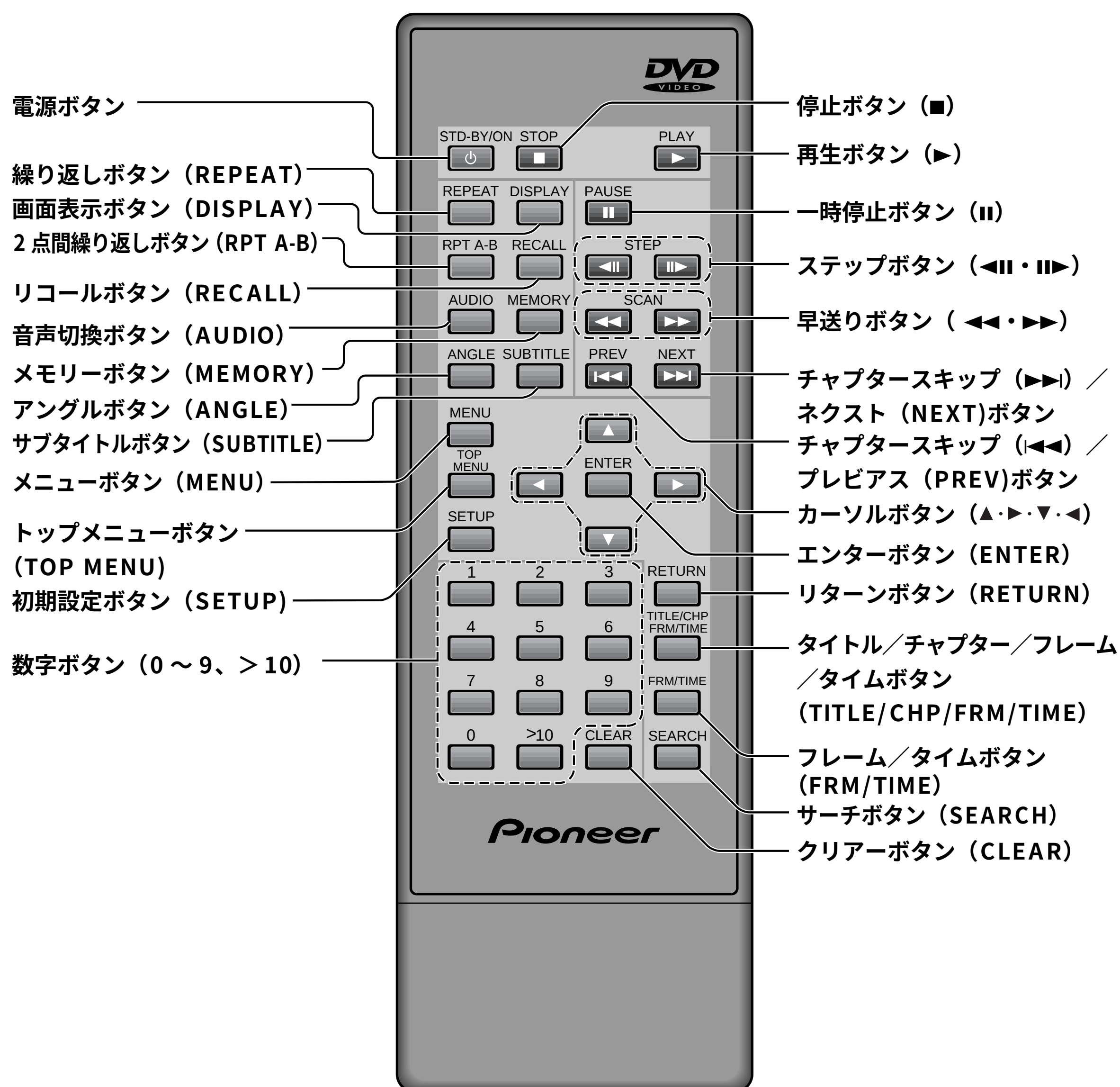
■ ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスク禁止マーク」を表示します。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止マーク」を表示します。

ディスク禁止マーク 

プレーヤーによる禁止マーク 

■リモコン



＊ワイヤードリモコン（別売：CU-V155)を使用する場合は一部のキーの名称を読みかえて使用しなければなりません。詳しくは本取扱説明書裏表紙のホームページをご参照ください。

■前面部

NTSC/PAL インジケーター 再生しているディスクのテレビ方式を示します。(NTSC:グリーン、PAL:オレンジ)

ステップ［◄II/II►］ボタン

PROGRAM インジケーター リピート再生、プログラム再生、コマンドスタック実行時に点灯

KEY LOCK インジケーター
点灯中は前面パネル、リモコンでの操作はできません。RS232-C で設定を変更します。

戻し［I◄◄ ◄◄］ボタン
送り［►► ►►I］ボタン

DISPLAY ボタン

再生／一時停止［▷/▯▯］ボタン／インジケーター

STANDBY インジケーター

電源スイッチ

停止／開／閉ボタン

ディスクイルミネーション
DVD再生時はグリーンに、CD、ビデオ CD 再生時はオレンジに点灯します。

ディスクテーブル

リモコン受光部

マウス／キーボード端子

外部コントロール（EXT.CONT）端子

ヘッドホン音量つまみ

ヘッドホンジャック

■後面部

お手持ちのアンプ	必要な設定
通常のAVアンプ	SETUPメニューで[Dolby Digital ► PCM]に設定してください。(34ページ)
ドルビーデジタル対応アンプ	SETUPメニューで[Dolby Digital]に設定してください。(34ページ)

デジタル出力端子
出力の設定を正しく行なわないとノイズが発生する場合があります。上の表のように設定してください。

モノラル音声出力端子

映像出力端子（ピン）

S2 映像出力端子

音声出力端子

インターフェイスコネクター端子

映像出力切換スイッチ

映像ターミネートスイッチ

TV システムスイッチ

電源コード接続端子

外部同期信号入力端子

映像出力端子（BNC）

映像色差出力端子

SIGNAL GND 端子
この端子は SIGNAL GND 端子です。ノイズの多い環境下では、マウス等の障害が起こることがあります。このような場合、使用する機器の間で GND を結べるように設けた端子です。安全アース端子ではありません。

基本操作編

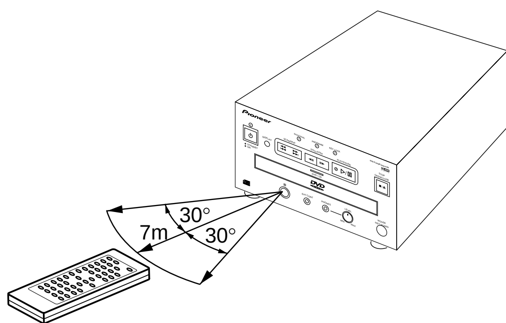
リモコンの操作

リモコンの操作

ワイヤレス操作

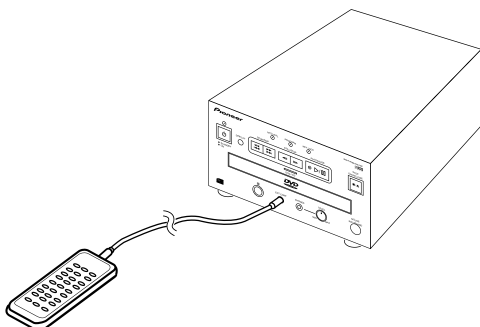
リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は７m以内、またリモコン受光部を基準にして上下左右３０゜までの範囲で操作できます。

●リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。



ワイヤード操作

別売のリモコンでは、ワイヤード操作ができます。別売のリモコンに付属のコードでプレーヤー前面パネルの外部コントロール端子（ＥＸＴ．CONT）とリモコンを接続します。



DVD/CD/ビデオ CDを再生する

DVD **Video CD** **CD**

1 STD-BY/ON を押します

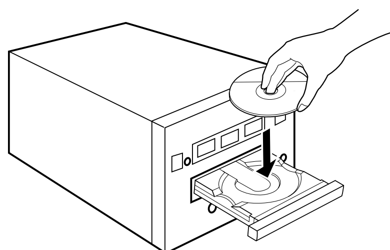
●本体のSTANDBYインジケーターがオレンジからグリーンに変わります。

2 STOP OPEN/CLOSE ■/⏏ を押します

●ディスクテーブルが出てきます。

3 ディスクを置きます

●レーベル面を上にして、ディスクテーブルのガイドに合わせて置きます。



4 PLAY ▶ を押します

●ディスクテーブルが引き込まれ、再生が始まります。

●本体前面では PLAY/PAUSE ▶/II を押します。

●ディスクによっては、メニュー（選択画面）が表示されます。メニューが表示された場合は次のページを参照してください。

ご注意

●再生可能地域番号（リージョンNO.）（86ページ）が適合していないDVDは再生できません。
（本機の再生可能地域番号は「2」です。）

●操作中に次のマークがテレビ画面に出ることがあります。

：本機自体が禁止している操作をしたとき

：ディスク自体が禁止している操作をしたとき

DVD **Video CD**

メニュー画面が表示されたとき

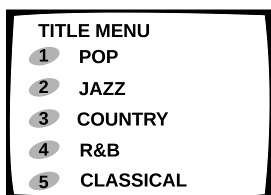
DVD、ビデオ CD では、ディスクによってメニュー（選択画面）機能を持っているものがあります。

本機では、メニューから選んでお好みのタイトルや曲が選べます。

DVD のとき

▲ ▼ ◀ ▶ を押して選択項目を選び、ENTER を押します

例）

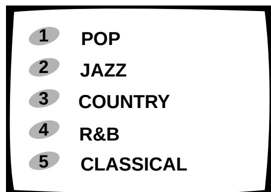


ビデオ CD のとき

数字ボタンで選びます

●メニュー画面が2ページ以上ある場合は、PREV NEXT を押してページをめくったり、戻したりします。

例）



メニュー画面表示のしかた

ディスクによってメニュー画面の表示のしかたは異なりますが、DVD では再生中に MENU または TOP MENU を押すと、切／入が切り換わります。

ビデオ CD では PBC 再生中に RETURN を押すと、メニュー画面に戻ります。

●メニュー画面上の操作についてはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

DVD **Video CD**

再生中にメニュー画面に戻るには

DVD のとき

1 TOP MENU を押します

●また、MENU を押すとタイトル内のメニュー画面になります。

●ディスクのメニューに従って操作してください。

ビデオ CD のとき

1 RETURN を押します

PBC 再生中に RETURN を押すとメニューが表示されます。PBC 再生では、プレーヤーの操作方法および動作は、ディスクに記録されている PBC 信号によるため、ディスクによって異なります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

ご注意

●ビデオ CD では、メニューを表示して再生したときは、リピート再生、トラック／タイムサーチの機能は働きません。

●メニュー内容はディスクによって異なります。▲ ▼ ◀ ▶、ENTER、数字ボタンを使ってメニューに応じた再生をお楽しみください。

●ビデオCDではメニューを出さずに再生することもできます。停止中に PREV NEXT または数字ボタンを押します。例えば、トラック 1 から再生するには、数字ボタンの 1 を押します。

基本操作

チャプター（トラック）を進める／戻す

DVD **Video CD** **CD**

次のチャプター（トラック）へ進む

NEXT
[▶▶|] を押します

●押すと次のチャプター（トラック）に進みます。
●本体前面では [▶▶|] が同じ働きです。

DVD **Video CD** **CD**

前のチャプター（トラック）へ戻る

PREV
[|◀◀] を押します

●一度押すと再生しているチャプター（トラック）の初めに戻ります。
●さらに押すと、ひとつ前のチャプター（トラック）に戻ります。
●本体前面では[|◀◀]が同じ働きです。

DVD **Video CD** **CD**

早送りのしかた

SCAN
[▶▶] を押し続けます

●目的のところまできたら SCAN [▶▶]を離します。続きを再生します。
●本体前面では [▶▶|] が同じ働きです。
●画面で“ Scan ”表示が点滅から点灯表示に変わると、ボタンから手を離しても、早送りを続けます。
目的のところまできたら SCAN [▶▶] を押してください。

DVD **Video CD** **CD**

早戻しのしかた

SCAN
[◀◀] を押し続けます

●目的のところまできたら SCAN [◀◀]を離します。再生します。
●本体前面では [|◀◀]が同じ働きです。
●画面で“ Scan ”表示が点滅から点灯表示に変わると、ボタンから手を離しても、早戻しを続けます。目的のところまできたら SCAN [◀◀]を押してください。

終了する

DVD **Video CD** **CD**

1 STOP [■] を押します

●本体前面では STOP OPEN/CLOSE [■/▲]を押します。
●再生が終わります。

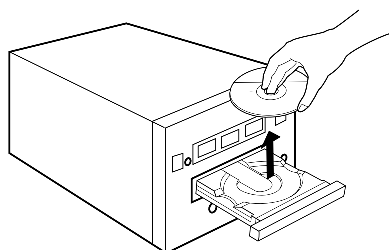
---

2 STOP OPEN/CLOSE [■/▲] を押します

●ディスクテーブルが出てきます。

---

3 ディスクを取り出します



---

4 STD-BY/ON [⏻] を押します

●ディスクテーブルが閉まり、電源が切れてSTANDBYインジケーターがグリーンからオレンジに変わります。

見たい場面を探す（サーチ）

DVD

再生中の場合のダイレクトタイトルサーチ

1 再生中に TITLE/CHP FRM/TIME を押します

Title 1

2 数字ボタンで直接タイトル番号を選びます

Title 3

●タイトルの 3 を選ぶとき
数字ボタンの 3 を押します
●タイトルの 10 を選ぶとき
数字ボタン 1 →0 の順に押します

3 SEARCH を押します

● PLAY を押しても選ぶことができます。

DVD Video CD CD

チャプター／トラックのサーチのしかた

1 TITLE/CHP FRM/TIME を押します

● DVD　　　　：2回押すとチャプター番号が点滅します。
ビデオ CD/CD：1 回押すとトラック番号が点滅します。

2 チャプター／トラック番号を数字ボタンで指定します

例①チャプター／トラックの 31 を選ぶとき
数字ボタン 3 → 1 の順に押します
例②チャプター 117 を選ぶとき
数字ボタン 1 → 1 → 7 の順に押します

3 SEARCH を押します

● SEARCH のかわりに NEXT または PLAY でも同じ動作をします。
●指定したチャプター／トラックを再生します。

DVD

停止中の場合のダイレクトタイトルサーチ

停止中に数字ボタンを押すと、タイトルのサーチをしてそこから映像がスタートします。

●タイトルの 3 を選ぶとき
数字ボタンの 3 を押します
●タイトルの 10 を選ぶとき
数字ボタン >10 → 1 → 0 の順に押します

DVD Video CD CD

チャプター／トラックダイレクトサーチ

再生中に数字ボタンを押すとチャプター／トラック番号でのサーチが行えます。

例①チャプター／トラックの 3 を選ぶとき
数字ボタンの 3 を押します

例②チャプター／トラックの 17 を選ぶとき
数字ボタン >10 → 1 → 7 の順に押します

ご注意

数字を入力すると🚫が表示されるディスクはサーチできません。

基本操作

見たい場面を探す（サーチ）

DVD Video CD

時間／フレームナンバーで探す（タイムサーチ／フレームサーチ）

1 FRM/TIME **を押してフレーム入力モードまたはタイム入力モードを選びます**

●ビデオCDはタイム入力のみです。

Frame : 0 / 219113 → Time : 0.00

2 数字ボタンを押して、フレームまたはタイムナンバーを指定します

例 21分43秒の場合: 2→1→4→3

● DVDではタイトル間をまたがって、時間の選択はできません。

3 SEARCH **を押します**

● SEARCH のかわりに NEXT または PLAY でも同じ動作をします。
●指定したタイムナンバーの画面から再生します。
●フレームサーチのときは指定したフレームで静止画になります。(使用するディスクによりフレーム精度が得られない場合があります。)
例）スライドショーの入ったディスク、映画（24コマ）素材のディスク等
● DISPLAY を押してタイトル内の再生時間が表示されないディスクは（19ページ）、タイムサーチ／フレームサーチは機能しません。

ポイント
●点滅中のタイトル、チャプター／トラック、タイムの表示を消すには、CLEAR を2回押してください。
●タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

ご注意
●DVDでは、タイトルによっては機能しないことがあり、そのときは画面にマークが出ます。
●DVD、ビデオCDのタイムサーチは、指定したタイムナンバーより少しずれた位置から再生が始まる場合があります。
●DVDでは、停止中のタイムサーチはできません。
●ビデオCDのPBC再生時には、上記操作によるサーチはできません。
●DVDの構造によっては、タイトルおよびチャプターの切れ目の前後数フレームでフレームサーチをすると、誤差を生じる場合があります。

コマ送り／静止画

DVD Video CD

コマ送り再生（画像を1コマずつ見る）

1 STEP ◀II II▶ **を押します**

STEP II▶ ：押すごとに1コマずつ進みます。

STEP ◀II ：DVDのみ機能します。次の設定で動作が異なります。

ADV.SETUP メニューのREV STEP/REV PLAYの項目（42ページ）が

Frame のとき： STEP ◀II を押すごとに1コマずつ戻ります。

VOBU*のとき： STEP ◀II を押すごとにVOBU単位で戻ります。

●ディスクによっては、表示が1コマずつ進まない/戻らない場合があります。例）映画（24コマ）素材のディスク
●DVDで静止画がブレるときは、25ページを参照し、“Still Picture”を“Field”に設定してください。(映像の垂直の解像度が半分になりますが、ブレは抑えられます。)
●VOBUの場合、STEP ◀II を押すごとにVOBU単位（0.4秒から1秒の単位）で戻ります。

***VOBU=Video OBject Unit：**
DVD-VIDEOにおけるストリームを構成する最小単位で、1VOBUの再生時間は0.4秒から1秒です。

DVD Video CD

静止画再生－画像を止めて見る

1 STEP II▶ **を押します**

ご注意
●静止画、コマ送り中の音声は聞こえません。
●ディスクによっては、一時停止できないディスクもあります。その場合はマークが画面に出ます。
● PAUSE を押した場合、映像は停止して背景色（ブルーバック等）になります。

スロー再生

DVD **Video CD**

正方向のスロー再生

再生中に STEP ▮▶ を押しつづけます

スロー再生の速さを変えるには

スロー再生中は、STEP ◀▮ と STEP ▮▶ でスロー再生の速さを調整します。



DVD のとき　STEP1(1/30)－1/16－1/8－1/4－1/2－1/1

ビデオ CD のとき　1/16－1/8－1/4－1/2

（単位：秒）

DVD

逆方向のスロー再生

再生中 に STEP ◀▮ を押しつづけます

スロー再生の速さを変えるには

ADV. SETUPメニューのREV STEP/REV PLAYの項目(42ページ）の設定によって動作が異なります。



Frame のとき　1/1－1/2－1/4－1/8－1/16－STEP1(1/30)

（単位：秒）

VOBU* のとき　VOBU 単位（0.4 秒から 1 秒の単位）で逆スロー再生します。

***VOBU=Video OBject Unit：**
DVD-VIDEOにおけるストリームを構成する最小単位で、1VOBU の再生時間は、0.4 秒から 1 秒です。

DVD **Video CD**

通常の再生に戻るには

PLAY ▶ を押します

ご注意

●スロー再生時は、音声は出力されません。

リピート再生

DVD **Video CD** **CD**

チャプター/トラックをリピート再生する

1 繰り返したいチャプターやトラックの再生中に、REPEAT を押してRepeat Chapter を表示させます

●ビデオ CD、CD では Repeat Track を表示します。

DVD **Video CD** **CD**

1 つのタイトルをリピート再生する

1 繰り返したいタイトルの再生中に REPEAT を押してRepeat Titleを表示させます

●DVD では、タイトルの終わりまで再生するとタイトルの始めに戻り、繰り返し再生します。
●CD、ビデオ CD では、ディスク 1 枚が 1 つのタイトルなので、全てを繰り返し再生します。

DVD

全てのタイトルをリピート再生する

1 再生中に REPEAT を押してRepeat All を表示させます

●ADV.SETUP メニューで TITLE PLAY MODE が All に設定されている時のみ有効です。（41 ページ）
●最後のタイトルの終りまで再生すると、タイトル 1 のはじめから再生します。

DVD **Video CD** **CD**

指定した箇所をリピート再生する

1 繰り返したい箇所の始めと終わりで RPT A-B を押します

DVD **Video CD** **CD**

指定した場所に戻る

1 希望の場所で RPT A-B を押します

---

2 戻りたい時に PLAY ▶ を押します

●指定した場所を取り消すには、CLEAR を押します。

ポイント

●リピート再生を止めるには、CLEAR を押します。リピートモードは解除されますが、再生はそのまま続きます。

ご注意

●DVD の場合、タイトルによりリピート再生できないときがあります。その場合は マークが画面に出ます。
●ビデオCDのPBC再生時には、リピート再生できません。リピート再生するには、メニューを出さずに再生（11 ページ）してから REPEAT を押してください。
●リピート設定時は本体のPROGRAMインジケーターが点灯します。

基本操作

プログラム再生

ディスクを希望の順番に並べ替えて再生します。最大 24 ステップまでプログラムできます。

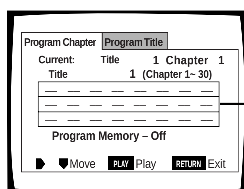
DVD

1 MEMORY を３回押します

テレビ画面に PROGRAM と表示されます。

2 ENTER を押します

プログラム画面が表示されます。



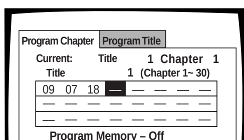
3 ▲ ▼ ◀ ▶ を使って、モードを選びます

Program Chapter:チャプター単位で予約するとき
Program Title　:タイトル単位で予約するとき

4 ▲ ▼ ◀ ▶ を使って、カーソル（色が変わっている箇所）をプログラム入力画面に移動させます

5 数字ボタンを使って、プログラム再生したい順に、チャプター・タイトルを指定します

例） タイトルまたはチャプターを 9、7、18 の順にプログラムするには、9、7、>10、1、8 と押します。



■再生中のチャプター・タイトルを入力するには
ENTER を押します

6 ▲ ▼ ◀ ▶ を使って、再生を開始したいチャプター/タイトルのステップにカーソルを移動させます

7 PLAY ▶ を押します

予約した順に再生を開始します。

RETURN を押すと、再生せずにプログラム予約を終了します。

ご注意

- Current Title（上段）と Title（下段）とが異なる場合、数字入力はできますが ENTER によるチャプター入力は禁止されます。
- DVDの場合､ディスクによってはプログラムできないものがあります｡そのようなディスクでは、画面に または マークが表示されます。
- チャプターのプログラムは､同じタイトル内のチャプターのみプログラムできます。
- チャプターが変わるときに､プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。

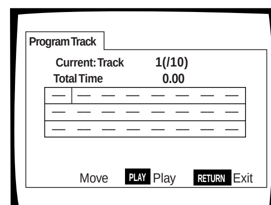
Video CD **CD**

1 MEMORY を３回押します

テレビ画面に PROGRAM と表示されます。

2 ENTER ボタンを押します

プログラム画面が表示されます。



3 数字ボタンを使って、プログラム再生したい順に、トラックを指定します

例） トラックを 9、7、18 の順にプログラムするには、9、7、>10、1、8 と押します。

4 ▲ ▼ ◀ ▶ を使って、再生を開始したいトラックのステップにカーソルを移動させます

5 PLAY ▶ を押します

予約した順に再生を開始します。

- RETURN を押すと､再生せずにプログラム予約を終了します。

お知らせ

- ビデオ CD の PBC 再生時にはプログラム再生はできません。

DVD　Video CD　CD

プログラム再生を止める

1 再生中に CLEAR を押します

通常の再生に戻ります。

お知らせ

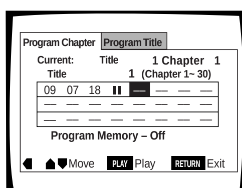
- ディスクテーブルを開くと、プログラムはすべて消えてしまいます。DVDでは、残しておきたいプログラムを本機に記憶させることができます（18 ページ）。
- 停止中に CLEAR を押すと、すべてのプログラムが消去されてしまいます。

DVD　Video CD　CD

一時停止をプログラムする

1 プログラム入力画面で PAUSE を押します

「II」が表示され、一時停止がプログラムされます。



- 一時停止をプログラムすると、次にプログラムしたタイトル、チャプター／トラックの始めで一時停止します。プログラム再生をつづけるには、PLAY を押してください。

お知らせ

- プログラムの最初と最後には、一時停止をプログラムすることはできません。
- 一時停止を連続して2回以上プログラムすることはできません。

DVD　Video CD　CD

プログラムを確認する

1 MEMORY を３回押します

テレビ画面にPROGRAMと表示されます。

2 ENTER を押します

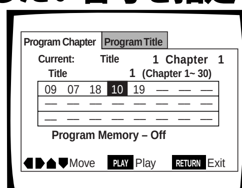
DVD ではさらに ◀ ▶ を押して[Program Chapter]または[Program Title]を選びます。

- プログラム再生を開始するには PLAY を押します。プログラムを終了するには、RETURN を押してください。

DVD　Video CD　CD

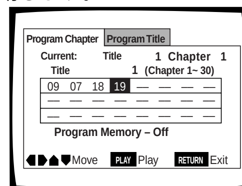
プログラムの内容を 1 つずつ消去する

1 ▲ ▼ ◀ ▶ を使って、消去したい番号を指定します



2 CLEAR を押します

指定された番号は消去され、後の番号が 1 つずつ前に移動します。

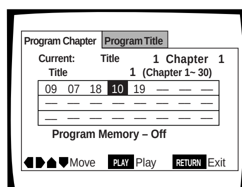


- プログラム再生を開始するには PLAY を押します。プログラムを終了するには、RETURN を押してください。

DVD　Video CD　CD

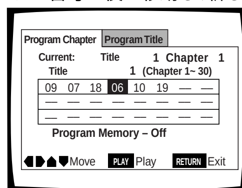
プログラムを追加する

1 挿入したい箇所を、▲ ▼ ◀ ▶ を使って、指定します



2 数字ボタンを押します

指定された番号は後へ移動し、新しい番号が挿入されます。



- プログラム再生を開始するには、再生を開始したい数字にカーソルを移動して、PLAY を押します。プログラムを終了するには、RETURN を押してください。
- すべてのプログラム（24 ステップ）が入力されているときは、CLEAR で消去してから追加してください。

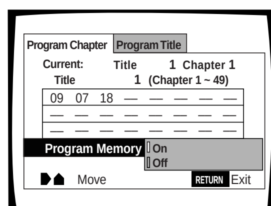
プログラム再生

DVD

プログラムを記憶する（プログラムメモリー）

本機はディスクを取り出しても、最大 24 枚まで DVD のプログラムを記憶できます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。記憶されたディスクが 24 枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

1 **▲ ▼ ◀ ▶ を使って、「Program Memory」の「On」を選び、ENTER を押します**



- プログラム再生を開始するには、再生を開始したい数字にカーソルを移動して、PLAY ▶ を押します。プログラムを終了するには、RETURN を押してください。

DVD

現在使用しているディスクのプログラムを消去するには

1 **▲ ▼ を使って、［Program Memory］の［Off］を選び、ENTER を押します**

- ただし、プログラム入力画面に数字は残ったままに見えますが、プログラムの記憶は消去されています。

> **エフディスクについて**
>
> この機能を使うと、（株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスク をお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大 24 個のチャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大 24 枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

ディスクの情報を見る

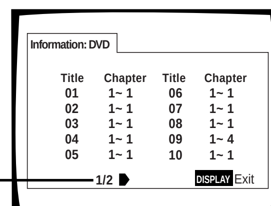
停止中にディスクの情報を見る

1 **停止中に DISPLAY を押します**

ディスク情報の画面が表示されます。

DVD

タイトルとそれぞれのタイトル内のチャプター数が表示されます。

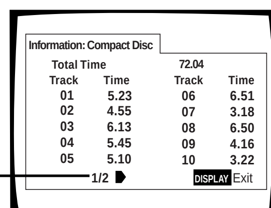


1/2 とは、情報が 2 ページあり、この画面がその 1 ページ目であることを表します。

ディスクの情報が 2 ページ以上あるときは、カーソル ▶ 右ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

Video CD **CD**

トラックとそれぞれのトラック時間が表示されます。



1/2 とは、情報が 2 ページあり、この画面がその 1 ページ目であることを表します。

ディスクの情報が 2 ページ以上あるときは、カーソル ▶ 右ボタンを押すと、次の画面が表示されます。

ディスクの情報を消すには

DISPLAY をもう一度押します。ディスク情報の画面が消えます。

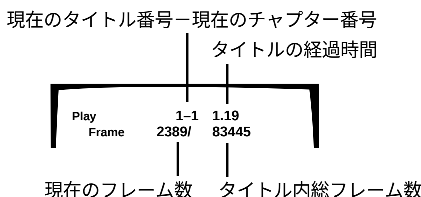
再生中にディスクの情報を見る

1 再生中にDISPLAYを繰り返し押します

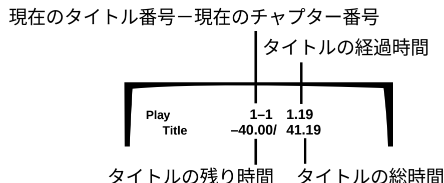
押すたびに以下のようなディスク情報が画面上部に表示されます。

DVD

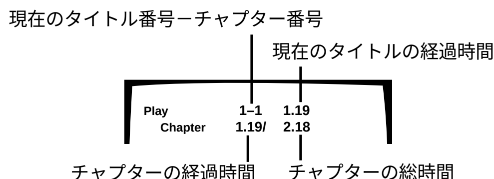
1 回押すと現在のフレーム情報が表示されます。



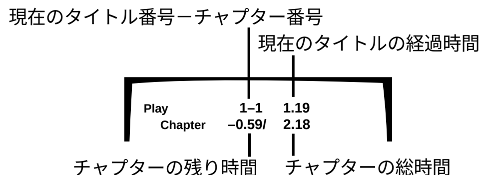
2 回押すと現在のタイトル情報が表示されます。



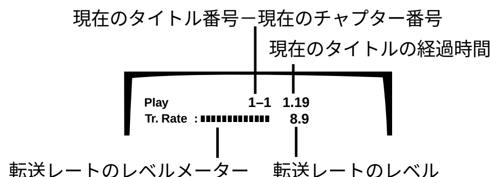
3 回押すと現在のチャプター情報が表示されます。



4回押すと現在のチャプター情報がさらに表示されます。



5回押すと転送レート*のレベルメーターが表示されます。

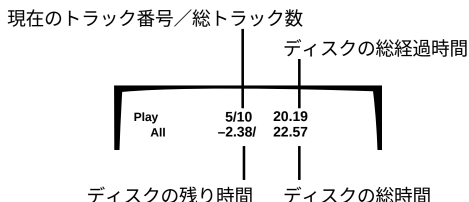


* DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

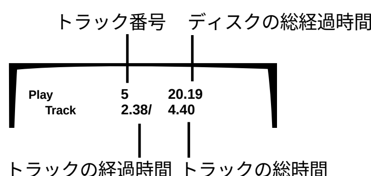
6 回押すと表示画面が消えます。

Video CD

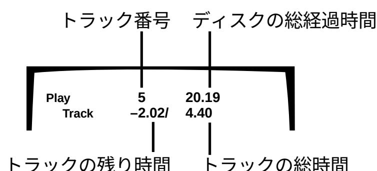
1 回押すとビデオ CD の情報が表示されます。



2 回押すと現在のトラック情報が表示されます。



3回押すと現在のトラック情報がさらに表示されます。

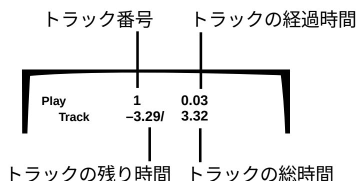


4 回押すと表示画面が消えます。

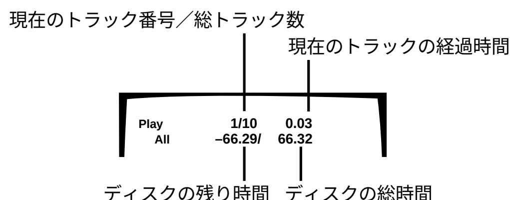
- ビデオ CD の PBC 再生中にはディスクの情報を見ることはできません。

CD

1 回押すと現在のトラックの情報が表示されます。



2 回押すと CD の情報が表示されます。



3 回押すと表示画面が消えます。

映像のアングルを切り換える

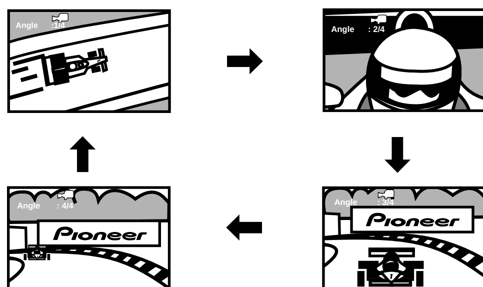
DVD

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットにはマークが付いています。

1 再生中、マークが表示されたら、ANGLEを押します

2 さらにANGLEを押して、お好みのアングルを選びます

押すたびに、アングルが切り換わります。



お知らせ

- 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
- 一部のDVDでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。
- マークを表示させたくないときは、SETUPメニューの［Angle Indicator］をOff(オフ)にします（26ページ）。

再生中に字幕を切り換える

DVD

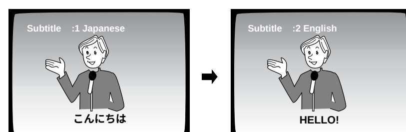
複数の言語で字幕が記録されたDVDを再生しているときは、表示する字幕を変更することができます。

1 DVDを再生中にSUBTITLEを押します

現在選択している字幕が表示されます。

2 さらにSUBTITLEを押します

押すたびに字幕表示が切り換わります。



お知らせ

- 字幕を消すにはSUBTITLEを押したあとCLEARを押すか、SUBTITLEを押して「Off」を選んでください。
- DVDでは字幕の切り換えはディスクのメニュー画面でも行える場合があります。その場合にはMENUを押して、メニュー画面を表示させてから選択します。（11ページ）
- ここで切り換えた字幕言語は一時的なものです。再生を停止すると、SETUPメニューの［Subtitle Language］（27ページ）で選択した字幕言語に戻ります。

再生中に音声を切り換える

DVD

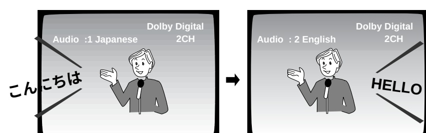
複数の言語で音声が記録されたDVDを再生しているときは､再生する音声を変更することができます。

1 DVDを再生中にAUDIOを押します

現在選択している音声が表示されます。

2 さらにAUDIOを押します

押すたびに音声が切り換わります。



お知らせ

- DVDの音声の切り換えはディスクのメニュー画面でも行える場合があります。その場合にはMENUを押して、メニュー画面を表示させてから選択します。（11 ページ）
- ここで切り換えた音声言語は一時的なものです。再生を停止すると、SETUP メニューの［Audio Language］（27 ページ）で選択した音声言語に戻ります。
- ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になるときがあります。

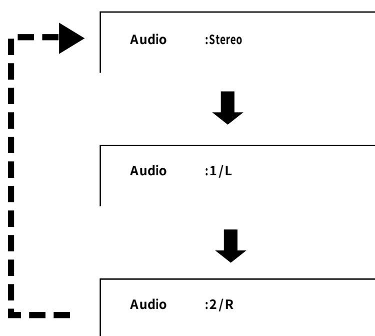
ステレオ/左/右の音声を切り換える

Video CD **CD**

ビデオ CD や CD では音声の種類を切り換えることができます。

1 ビデオCD、CDを再生中にAUDIOを押します

押すたびに音声がステレオ、1/L（左)、2/R（右）に切り換わります。



お知らせ

- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

基本操作

SETUP メニューの項目別さくいん

SETUP メニュー画面では、さまざまな設定を行うことができます。項目名や選択肢からではどんな設定を行うのか分からないとき、本書で説明しているページを、このさくいんで知ることができます。

Audio1 | 2 | Video | Language | General

項目	選択肢	ページ
Dolby Digital Out	▌Dolby Digital	34ページ
	Dolby Digital ▸ PCM	
DTS Out	▌Off	34ページ
	DTS	
96kHz PCM Out	▌96kHz ► 48kHz	35ページ
	96kHz	
MPEG Out	MPEG	35ページ
	▌MPEG ► PCM	
Digital Out	▌On	36ページ
	Off	

1 | **Audio2** | Video | Language | General

項目	選択肢	ページ
Virtual Surround	▌Off	36ページ
	VDD/Tru Surround	
Audio DRC	Large	37ページ
	Medium	
	Small	
	▌Off	

Audio1 | 2 | **Video** | Language | General

項目	選択肢	ページ
TV Screen	4:3(Letter Box)	23ページ
	4:3(Pan&Scan)	
	▌16:9(Wide)	
Still Picture	Field	25ページ
	▌Frame	
	Auto	
On Screen Display	▌On	25ページ
	Off	
OSD Position	Wide	26ページ
	▌Normal	
Angle Indicator	▌On	26ページ
	Off	

Audio1 | 2 | Video | **Language** | General

項目	選択肢	ページ
Audio Language	English	27ページ
	▌Other: Japanese	
Subtitle Language	English	27ページ
	▌Other: Japanese	
Auto Language	▌On	28ページ
	Off	
DVD Language	▌w/Subtitle Language	29ページ
	English	
	Other: Japanese	
Subtitle Display	▌On	29ページ
	Off	
	Assist Subtitle	
Subtitle Off	With Audio	30ページ
	▌Selected Subtitle	

Audio1 | 2 | Video | Language | **General**

項目	選択肢	ページ
Parental Lock	Level Change	31ページ
	Password Change	
Screen Saver	▌Off	33ページ
	Black	
	Background Color	
Background Color	(色見本)	33ページ

▌は出荷時の設定を表します。

SETUPメニューを操作する

DVD **Video CD** **CD**

SETUP メニューを使って、さまざまな設定を行うことができます。
ここではSETUP メニューの基本的な操作方法や使用するボタンの位置について説明します。

SETUP メニューを表示する

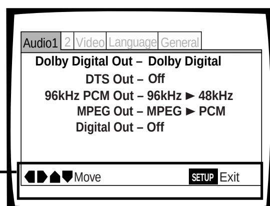
1 STD-BY/ON  **を押します**

電源が入っている場合は 2 に進んでください。

2 SETUP  **を押します**

SETUP メニューが表示されます。

例）



その画面で操作できるボタンを表します。

ディスクの種類により変更後すぐに働く設定項目

DVD、ビデオ CD、CD といったディスクの種類によって、変更後すぐに働く設定項目があります。本機では、選択項目の左にあるインジケーターの色で確認できます。下記の表をご覧ください。

インジケーターの色	ディスクの種類
青色	DVDのみ
黄色	DVD／ビデオCDのみ
緑色	ディスクの種類にかかわりません

再生中に変更できない項目

再生中では設定の変更ができない項目は、灰色で表示されます。

灰色



アスペクト比の設定

DVD

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビに接続しているときこの設定は不要です。
DVD の映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率（一般にアスペクト比と呼ばれています）が横 16：縦 9 で記録されています。従って、DVD を従来サイズのテレビで見ると、映像が横 4：縦 3 となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いの場合は、この設定を行ってください。この設定は再生中に変更できません。

1 SETUP **を押します**

SETUP メニューが表示されます。

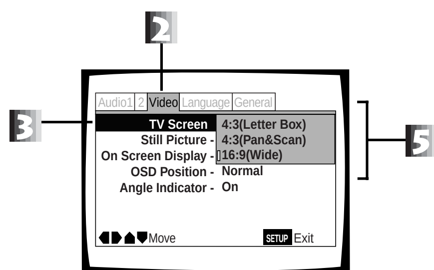
2 **[Video]を選びます**

3 **[TV Screen]を選びます**

4 **カーソル  右ボタンを押します**

5 **設定したい項目を選びます**

6 ENTER **を押します**



4:3（Letter Box）：従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式（次のページ）で見たいときに選択します。
4:3（Pan&Scan）：従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式（次のページ）で見たいときに選択します。
16:9（Wide）：ワイド（16:9）テレビと接続したとき選択します。（出荷時の設定）

7 SETUP  **を押します**

- 96kHz PCM 音声の入った 16:9 ディスクをレターボックスに変換して再生する場合は、音声のサンプリング周波数が強制的に 48kHzにダウンサンプリングされます。96kHzで音声を楽しむには、画面サイズをワイドに設定してください。
- アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

アスペクト比の設定

DVD

映像の見えかた

[従来サイズのテレビのとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9のディスク	4:3(Letter Box)	○ 上下に帯がつきますが正しく見えます
	4:3(Pan&Scan)	○ 画面の左右が切れますが正しく見えます このように見たくない場合は、本機の設定を［4:3（Letter Box)］に切り換えてください。
	16:9(Wide)	× 縦長に見えます このように見える場合は、本機の設定を［4:3（Letter Box)］または［4:3（Pan&Scan)］に切り換えてください。
4:3のディスク	4:3(Letter Box) 4:3(Pan&Scan) 16:9(Wide) いずれの設定でも	○ 正しく見えます

[ワイドテレビのとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9のディスク	16:9(Wide)	○ 正しく見えます ディスクによっては上下に帯がつくことがあります。
4:3のディスク	16:9(Wide)	○ 左右に帯がつきますが正しく見えます
		× 横長に見えます このように見える場合は、テレビ側の設定をノーマルに切り換えてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

レターボックスまたはパンスキャン再生中に以下の表示をおこなうと、画面サイズが強制的にワイドに変換されます。

- SETUP メニュー表示時
- ADV.SETUP メニュー表示時
- プレーヤーコントロールパネル表示時
- コマンドスタック表示時
- ビデオブラックボード表示時
- プログラム表示時
- ビデオテキスト表示時

映像の設定をする

DVD

静止画像を切り換える

DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし、画像を鮮明に見ることができます。

1 SETUP を押します

SETUPメニューが表示されます。

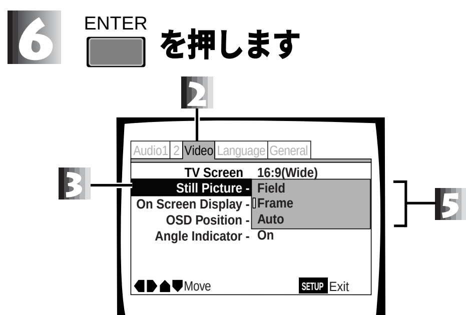
2 [Video]を選びます

3 [Still Picture]を選びます

4 カーソル ▶ 右ボタン を押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER を押します



Field ：静止画状態のとき、画像のブレをなくします。

Frame ：通常モードです。（出荷時の設定）

●動きのあるシーンでは映像がブレることがあります。

Auto ：Field と Frame を自動的に切り換えます。

7 SETUP を押します

ご注意

●ディスクによっては「Field」を選択しても画質が鮮明にならない場合があります。

DVD　Video CD　CD

画面表示のオン／オフを切り換える

「Play」「Stop」など、本機を操作したときの表示をテレビ画面に表示させたくないとき設定を変更します。

1 SETUP を押します

SETUPメニューが表示されます。

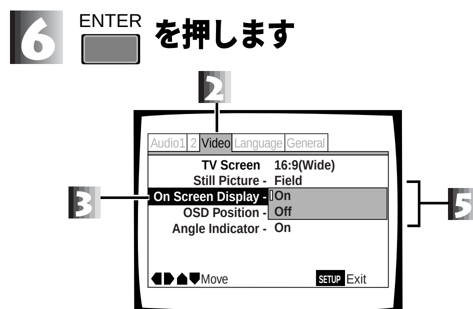
2 [Video]を選びます

3 [On Screen Display]を選びます

4 カーソル ▶ 右ボタン を押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER を押します



On：画面表示をします。（出荷時の設定）

Off：画面表示をしません。

7 SETUP を押します

設定

DVD

画面表示の位置を選択する

「Play」「Stop」等、本機を操作したときの表示位置をテレビの種類に合わせて設定します。DVDディスクの画面比率が4:3のときに設定します(詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください)。

1 SETUP を押します

SETUP メニューが表示されます。

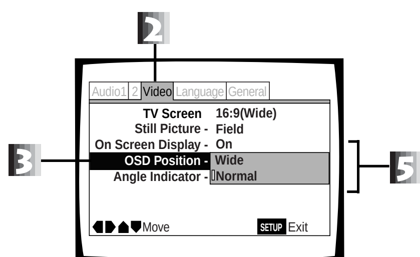
2 [Video]を選びます

3 [OSD Position]を選びます

4 カーソル▶右ボタン を押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER を押します



Wide ： ワイドテレビ側の設定でズームを選んでいるとき、画面表示が欠けるのを避けます。

Normal： ワイドテレビ側の設定でノーマルやフルを選んでいるとき、こちらを選択します。(出荷時の設定)

7 SETUP を押します

DVD

マーク表示をオン／オフする

マルチアングル部分を再生しているときに画面表示されるマークを表示させたくないとき、設定を変更します。

1 SETUP を押します

SETUP メニューが表示されます。

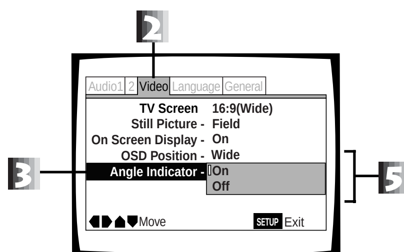
2 [Video]を選びます

3 [Angle Indicator]を選びます

4 カーソル▶右ボタンを押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER を押します



On： 画面にマークを表示します。(出荷時の設定)

Off： 画面にマークを表示しません。

7 SETUP を押します

言語の設定をする

DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、ユーザーが目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここではSETUPメニューの［Language］(言語) にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。

DVD

音声言語を設定する

音声言語を選びます。
この設定は再生中に変更できません。

1 SETUP **を押します**

SETUP メニューが表示されます。

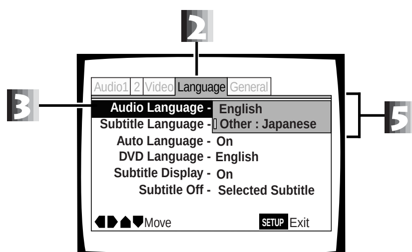
2 **[Language]を選びます**

3 **[Audio Language]を選びます**

4 **カーソル ▶ 右ボタンを押します**

5 **設定したい項目を選びます**

6 ENTER **を押します**



English ：音声言語が英語になります。
Other ：136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは次のページの「字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で[Other］を選んだとき」をご覧ください。(出荷時の設定)

7 SETUP **を押します**

DVD

字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。
この設定は再生中に変更できません。

1 SETUP **を押します**

SETUP メニューが表示されます。

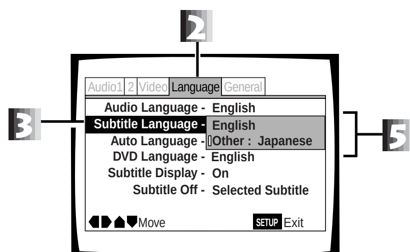
2 **[Language]を選びます**

3 **[Subtitle Language]を選びます**

4 **カーソル ▶ 右ボタンを押します**

5 **設定したい項目を選びます**

6 ENTER **を押します**



English ：英語の字幕を表示します。
Other ：136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは次のページの「字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で ［Other］を選んだとき」をご覧ください。(出荷時の設定)

7 SETUP **を押します**

設定

字幕言語／音声言語／DVD 言語の設定で［Other］を選んだとき

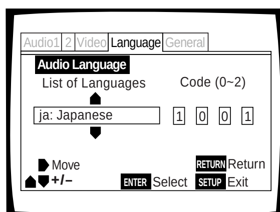
38 ページの言語コード表を見ながら操作します。

1 [Other]を選びます

2 ENTER を押します

言語選択画面が表示されます。

例）音声言語(Audio Language)の場合



3 「List of Languages」または「Code」を選びます

(「List of Languages」で言語を選ぶ方法)

(「French」（フランス語）を選ぶ場合)

▲ を 2 回押します。

(「Code」で言語を選ぶ方法)

(「French」(フランス語）を選ぶ場合)

リモコンの**数字ボタン**の 0、6、1、8 を押します。

- 1ケタごとに ▲ ▼ を押して数字を選択することもできます。◀ ▶ を押してケタを移動します。
- コードの（　）の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

4 ENTER を押します

DVD

音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声／字幕にするかを選びます。
この設定は再生中に変更できません。

1 SETUP を押します

SETUP メニューが表示されます。

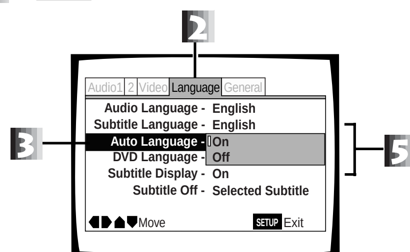
2 [Language]を選びます

3 [Auto Language]を選びます

4 カーソル ▶ 右ボタンを押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER を押します



On： [Audio Language](音声言語) と [Subtitle Language]（字幕言語）が同じとき、および [Subtitle Display](字幕表示)が On のとき有効となります。一般の洋画 DVD では音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画 DVD では音声は日本語、字幕はオフになります。(出荷時の設定)

Off： 再生中の音声のオート設定が解除され、[Audio Language](音声言語) と [Subtitle Language]（字幕言語）で設定している音声と字幕になります。

7 SETUP を押します

DVD

DVDのメニュー言語を設定する

DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。
この設定は再生中に設定できません。

1 SETUP **を押します**

SETUPメニューが表示されます。

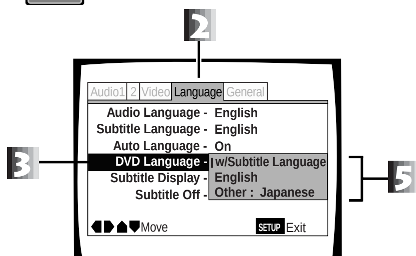
2 [Language]を選びます

3 [DVD Language]を選びます

4 カーソル ▶ 右ボタンを押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER **を押します**



w/Subtitle Language ：[Subtitle Language]（字幕言語）で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。(出荷時の設定)

English ：英語でメニュー画面が表示されます。

Other ：136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは28ページの「字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で[Other]を選んだとき」をご覧ください。

7 SETUP **を押します**

お知らせ

- DVDに収録されていない言語を設定した場合、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

DVD

字幕表示をオン／オフする

字幕を表示するかしないか、または「Assist Subtitle」(アシスト字幕）を表示するかを選びます。
この設定は再生中に変更できません。

1 SETUP **を押します**

SETUPメニューが表示されます。

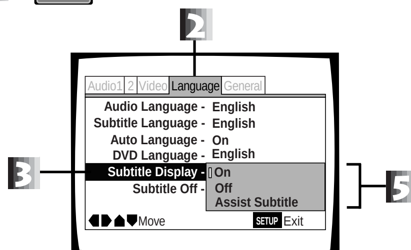
2 [Language]を選びます

3 [Subtitle Display]を選びます

4 カーソル ▶ 右ボタンを押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER **を押します**



On：字幕を表示します。(出荷時の設定)

Off：字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります（次のページ参照)。

Assist Subtitle：アシスト字幕は例えば、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

7 SETUP **を押します**

DVD

強制的に表示される字幕の言語を設定する

DVD の中には、字幕表示を「Off」(オフ）にしても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。
この設定は再生中に変更できません。

1 SETUP を押します

SETUP メニューが表示されます。

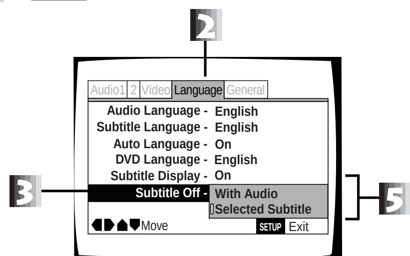
2 [Language]を選びます

3 [Subtitle Off]を選びます

4 カーソル ▶ 右ボタンを押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER を押します



With Audio ：再生されている音声の言語で字幕を表示します。

Selected Subtitle ：SETUP メニューの［Subtitle Language］(字幕言語）で選択されている言語で字幕を表示します。（出荷時の設定）

7 SETUP を押します

視聴制限をする（パレンタルロック）

暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベル（大小）を設けたものがあります。（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます。）本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを 6 に設定しておくと、レベル 7、レベル 8 のディスクを再生するためには暗証番号の入力が必要です。

DVD

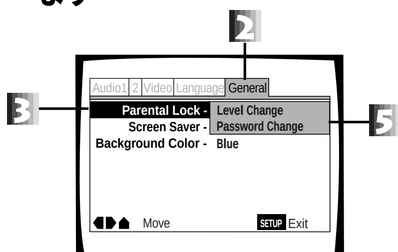
レベルを設定する

視聴制限のレベルと、暗証番号を設定します。

1 SETUP **を押します**

SETUP メニューが表示されます。

2 ◀ ▶ **を使って[General]を選びます**



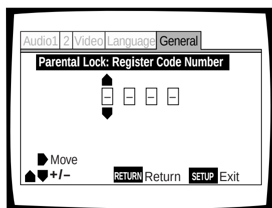
3 ▲ ▼ **を使って[Parental Lock]を選びます**

4 **カーソル ▶ 右ボタンを押します**

5 ▲ ▼ **を使って[Level Change]を選び、** ENTER **を押します**

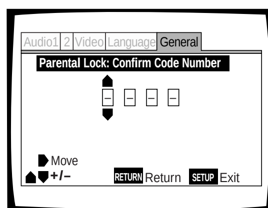
（暗証番号がまだ登録されていないとき）

暗証番号登録の画面が表示されます。



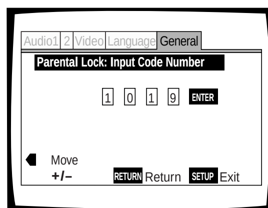
（暗証番号がすでに登録されているとき）

暗証番号入力の画面が表示されます。



6 **数字ボタンを押して、暗証番号を4桁で入力します**

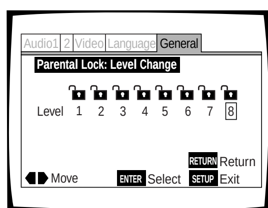
●1ケタごとに ▲ ▼ を押して数字を選択することもできます。◀ ▶ を押してケタを移動します。



7 ENTER **を押します**

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。

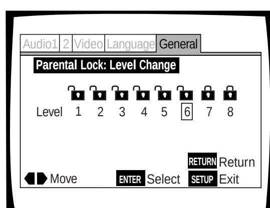
●出荷時の設定はレベル 8（制限しない）に設定されています。



設定

8 ◀ ▶ **を使ってレベルを選びます**

例えばレベル 6 を選んだ場合は、レベル 7 とレベル 8 のディスクに対して視聴制限がされます。



9 ENTER **を押します**

視聴制限のレベルが設定されます。

お知らせ

暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
暗証番号を忘れたときは、出荷時の設定に戻して（38ページ）、設定し直してください。

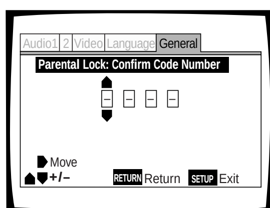
DVD

視聴制限できる DVD を再生するとき

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと、再生は始まりません。

1 **数字ボタンで暗証番号を入力します**

- 1 ケタごとに ▲ ▼ を押して数字を選択することもできます。◀ ▶ を押してケタを移動します。



2 ENTER **を押します**

再生が始まります。

お知らせ

ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

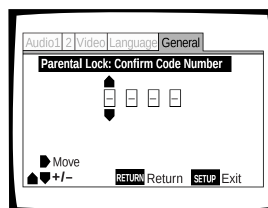
DVD

暗証番号を変更する

1 **前ページ「レベルを設定する」の手順 1 ～ 4 の操作を行います**

2 ▲ ▼ **を使って[Password Change]を選び、** ENTER **を押します**

暗証番号入力の画面が表示されます。



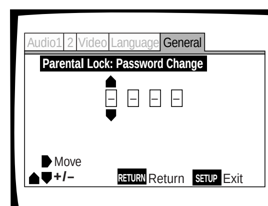
3 **数字ボタンを押して、現在の暗証番号を4桁で入力します**

- 1ケタごとに ▲ ▼ を押して数字を選択することもできます。◀ ▶ を押してケタを移動します。

4 ENTER **を押します**

暗証番号変更の画面が表示されます。

5 **数字ボタンを押して、新しい暗証番号を4桁で入力します**



6 ENTER **を押します**

暗証番号が変更されます。

一般の設定をする

DVD Video CD CD

スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象)を防ぐための機能です。

1 SETUP を押します

SETUP メニューが表示されます。

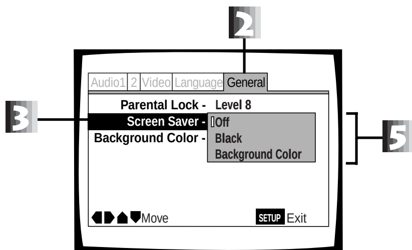
2 [General]を選びます

3 [Screen Saver]を選びます

4 カーソル▶右ボタンを押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER を押します



Off　：スクリーンセーバー機能が働きません。
（出荷時の設定）

Black：黒色を表示します。

Background Color
：設定された背景色を表示します。

7 SETUP を押します

DVD Video CD CD

背景色を選ぶ

ディスクが停止しているときの画面の色を選びます。

1 SETUP を押します

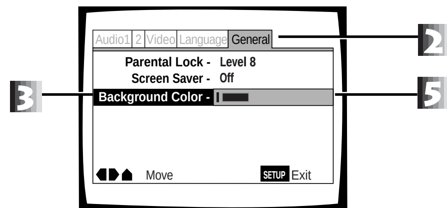
SETUP メニューが表示されます。

2 [General]を選びます

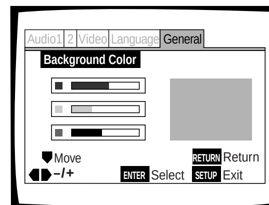
3 [Background Color]を選びます

4 カーソル▶右ボタンを押します

5 ENTER を押します



6 下の画面で色合いを調整し、ENTER を押します。



7 SETUP を押します

設定

デジタル出力の設定をする

本機に接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。適切な設定をしないと、ノイズが発生することがありますので注意してください。
お手持ちのアンプの取扱説明書もあわせてお読みください。

DVD

ドルビーデジタル出力

つないだアンプがドルビーデジタル＊1 に対応していない場合は、設定を [Dolby Digital►PCM] にします。

1 SETUP **を押します**

SETUP メニューが表示されます。

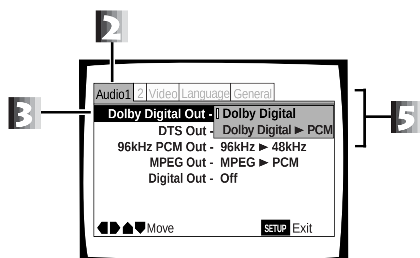
2 **[Audio1]を選びます**

3 **[Dolby Digital Out]を選びます**

4 **カーソル ▶ 右ボタンを押します**

5 **設定したい項目を選びます**

6 ENTER **を押します**



Dolby Digital
：ドルビーデジタル対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。（出荷時の設定）

Dolby Digital ► PCM
：Dolby Digital信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選びます。

7 SETUP **を押します**

＊1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
DOLBY、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

DVD

DTS 出力

つないだアンプが DTS ＊2 対応の場合は、設定を [DTS]にします。

1 SETUP **を押します**

SETUP メニューが表示されます。

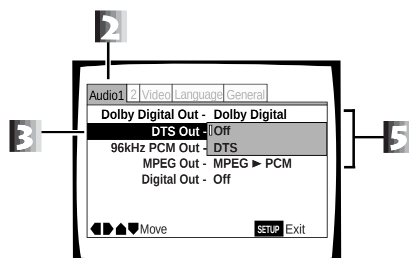
2 **[Audio1]を選びます**

3 **[DTS Out]を選びます**

4 **カーソル ▶ 右ボタンを押します**

5 **設定したい項目を選びます**

6 ENTER **を押します**



Off ：DTS に対応していないアンプと接続したときに選びます。（出荷時の設定）

DTS：DTS 対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

7 SETUP **を押します**

＊2 DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

DVD

96kHz PCM出力

つないだアンプが96kHz対応の場合は、設定を[96kHz]にします。この設定は再生中に変更できません。

1 SETUP **を押します**

SETUPメニューが表示されます。

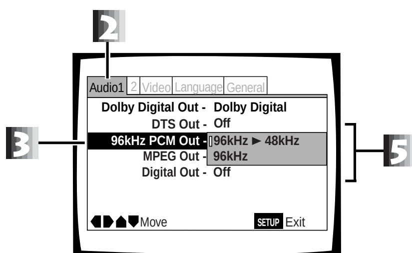
2 [Audio1]を選びます

3 [96kHz PCM Out]を選びます

4 カーソル▶右ボタンを押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER **を押します**



96kHz ► 48kHz
：96kHzの信号を48kHzにダウンサンプリングして出力します。96kHzに対応していないアンプと接続したときに選びます。(出荷時の設定)

96kHz ：96kHz対応アンプまたはDACと接続したときに選びます。

7 SETUP **を押します**

DVD

MPEG出力

つないだアンプがMPEG対応の場合は、設定を[MPEG]にします。

1 SETUP **を押します**

SETUPメニューが表示されます。

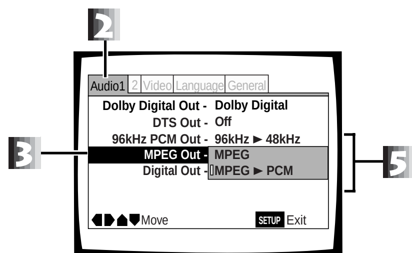
2 [Audio1]を選びます

3 [MPEG Out]を選びます

4 カーソル▶右ボタンを押します

5 設定したい項目を選びます

6 ENTER **を押します**



MPEG ：MPEG対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

MPEG ► PCM
：MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないアンプと接続したときに選びます。(出荷時の設定)

7 SETUP **を押します**

設定

デジタル出力の設定をする

DVD Video CD CD

デジタル出力の設定をする

デジタル音声出力端子から音声信号を出力しないように設定できます。

1 SETUP **を押します**

SETUP メニューが表示されます。

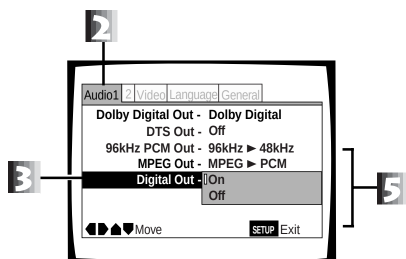
2 **[Audio1]を選びます**

3 **[Digital Out]を選びます**

4 **カーソル ▷ 右ボタンを押します**

5 **設定したい項目を選びます**

6 ENTER **を押します**



On ：後面のデジタル出力端子から音声を出力します。(出荷時の設定)

Off ：後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

7 SETUP **を押します**

音質の効果を得る

DVD Video CD

サラウンド(立体音場)にする

再生音声にあわせて、本機はバーチャルドルビーデジタルと TruSurround を自動的に切り換えます。

1 SETUP **を押します**

SETUP メニューが表示されます。

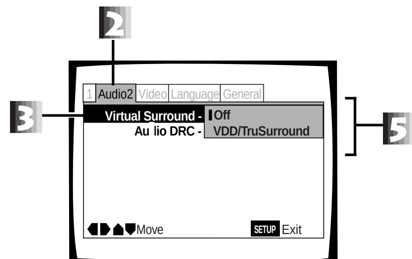
2 **[Audio2]を選びます**

3 **[Virtual Surround]を選びます**

4 **カーソル ▷ 右ボタンを押します**

5 **[VDD/TruSurround]を選びます**

6 ENTER **を押します**



Off ：働きません。(出荷時の設定)

VDD/TruSurround

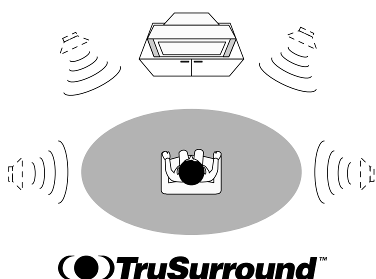
：立体音場（サラウンド）になります。

7 SETUP **を押します**

TruSurroundとバーチャルドルビーデジタルについて

本機はSRS社のTruSurround*技術により、サラウンドエンコードされたステレオ音声やマルチチャンネル音声を処理して、2つの前面スピーカーのみでバーチャルサラウンド（仮想立体音場）を実現しています。

特に、再生音声がドルビーデジタルマルチチャンネル音声のときはバーチャルドルビーデジタル機能が自動的に働き、より臨場感のある立体音場が再現されます。



* TruSurroundと(●)記号は米国と選択された諸外国におけるSRS Labs, Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスにより製品化されています。

お知らせ

- DVDのDTS音声、96kHz PCM音声を再生しているとき、またはCDを再生しているときは、この機能は働きません。
- バーチャルドルビーデジタルが働いているときは、リモコンのAUDIOを押すと、画面の左上に「VDD」と表示されます。
- バーチャルドルビーデジタルが働いているとき、SETUPメニューの[Audio 1]の[Dolby Digital Out]を[Dolby Digital ► PCM]に設定してあるときは、デジタル出力端子から音声は出力されません(34ページ)。
- ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。

DVD

ドルビーデジタル音声を調節する

音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。オーディオDRC（ダイナミックレンジコンプレッション）を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

1 **SETUP を押します**

SETUPメニューが表示されます。

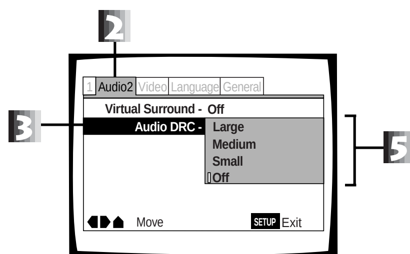
2 **[Audio2]を選びます**

3 **[Audio DRC]を選びます**

4 **カーソル ▶ 右ボタンを押します**

5 **設定したい項目を選びます**

6 **ENTER を押します**



Large	：最も効果があります。
Medium	：LargeとSmallの中間の効果があります。
Small	：少し効果があります。
Off	：オーディオDRCを解除します。（出荷時の設定）

7 **SETUP を押します**

お知らせ

- オーディオDRCはドルビーデジタル音声にのみ働きます。
- オーディオDRCの効果は、お使いのスピーカーまたはAVアンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定をお選びください。

設定

すべての設定を出荷時に戻す

DVD **Video CD** **CD**

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。

この操作を行うと、プログラムメモリー（18ページ）など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

1 電源が待機状態（スタンバイ状態）のとき、本体の を押しながら、本体の を押します

STANDBY
ON

設定内容が出荷時の状態に戻りますが、初期化されない項目もあります。

初期化される項目　：SETUP メニュー、ADV.SETUP メニュー、プログラムメモリー、パレンタルに関する設定

初期化されない項目：コマンドスタック、ビデオブラックボードデータ、時計

言語コード表

DVD

言語名（言語コード）	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Dutch (nl)	1412
Russian (ru)	1821
Chinese (zh)	2608
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520

言語名（言語コード）	入力コード
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215

言語名（言語コード）	入力コード
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Portuguese (pt)	1620
Quechua (qu)	1721
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913

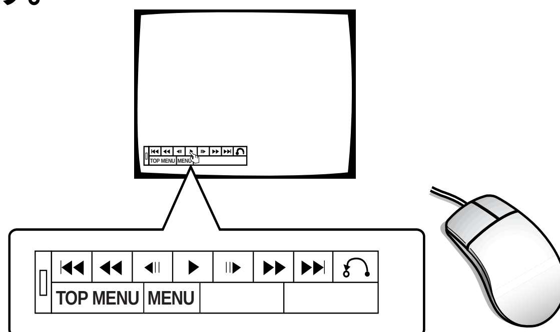
言語名（言語コード）	入力コード
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swedish (sv)	1922
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

＊言語表記はISO639:1988（E/F）に準拠（1999年9月現在）

応用操作編

はじめに

基本操作編では、本機の基本的な取り扱いについて説明してありますが、応用操作編では本機の独自な機能について説明します。



● ADV.SETUP メニューについて

本機は SETUP メニュー（基本操作編にて説明）のほかに ADV.SETUP メニューを持っています。このメニューの中にはウイークリータイマー機能やパワーオンスタート機能等、本機固有の設定が含まれています。

以下のような機能もあります。

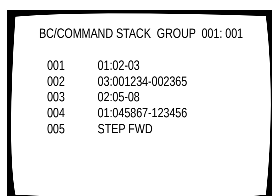
●マウスによるプレーヤーコントロール機能

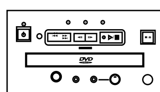
マウスを使ってコントロールする方法の説明です。

●バーコード／コマンド・スタック機能

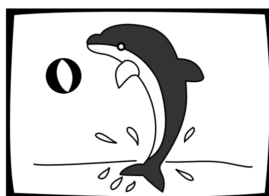
DVD-V730をコントロールする複数のコマンドやバーコードをあらかじめプレーヤー本体のメモリに記憶させておくことができます。
記憶した内容を呼び出しての連続再生や 1 コマンドずつのステップ再生ができます。
この機能により、バーコードの事前登録やコンピューター、コントローラーを使わないプレーヤー単独でのプログラム再生ができます。(記憶されたデータは電源コードを抜いても保存されます)

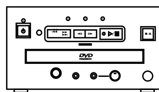
入力





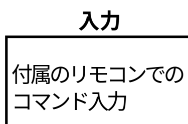
再生



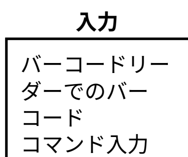


用途
- 販売促進・プレゼンテーション
- 映像検索・映像展示
- 教育・トレーニング

入力



入力





自動再生

- 付属リモコン
- 外部オプションスイッチ
- ウィークリータイマー／パワーオンスタート でのコマンド連続再生・リピート

マニュアル再生

1 コマンドずつのステップ再生

設定

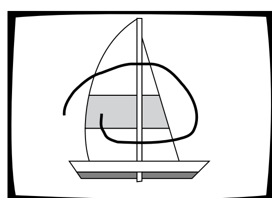
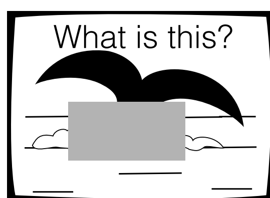
応用操作

●ビデオブラックボード機能

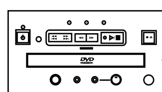
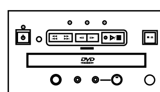
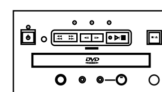
マウス、キーボードを使い映像再生中または単独で、図形、線、文字（アルファベット、数字、記号）を書くことが可能です。再生中の映像にリアルタイムに自由曲線を描いたり､再生中に指定された位置に図形や文字を映像と合成して映し出すことができます。（あらかじめ図形や文字を記憶させておく必要があります。）
(記憶されたデータは電源コードを抜いても保存されます)

使用方法
- ポインター
- 簡単テロパー
- 映像解説
- 映像のマスキング

用途
- 教育・トレーニング
- 販売促進・プレゼンテーション



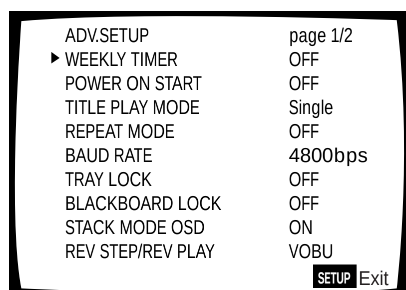
マウスにより自由曲線を描く

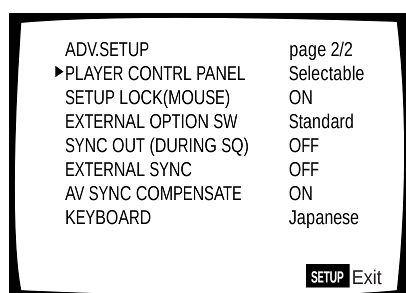
あらかじめ描いた図形、文字を再生映像上に自動的にオーバーレイ

●外部同期機能

●再生 / 通電時間の表示

ADV.SETUP メニューの設定





上記画面は初期設定値を表示しています。

DVD **Video CD** **CD**

ADV.SETUPメニューへ入るには

リモコンの SETUP を1秒押し続ける

左図のような専用メニューの画面になります。
（以下ADV.SETUPメニューと呼びます。）

そのあと例えばウイークリータイマーの項目については、▲ ▼でカーソルを**WEEKLY TIMER**にあわせて、◀ ▶ でON/OFFを設定します。ONにした場合は、ENTERボタンを押し、下の階層の画面で詳細な設定を行います。
パワーオンスタートについては、▲ ▼でカーソルを**POWER ON START**にあわせて、◀ ▶ でON/OFFを設定します。ONにした場合は、ENTERボタンを押し、下の階層の画面で詳細な設定を行います。
他の項目についても、この画面上で ▲ ▼ で項目を選択し、◀ ▶ でON/OFF等を設定します。

DVD-V730のADV.SETUPメニューには16項目の設定があります。メニューの操作はリモコンで行います。

① WEEKLY TIMER

各曜日ごとに電源の入／切の時間が設定でき、しかも再生を開始するタイトルやチャプターも設定できます。同じ曜日に最大24回まで設定できます。この機能により動作の無人化が可能です。

OFF ： WEEKLY TIMERの機能を働かせません。
ON ： WEEKLY TIMERの機能を働かせます。

② POWER ON START

電源を入れたときに自動再生を始めるか否かを設定します。

OFF ： POWER ON STARTの機能を働かせません。
ON ： POWER ON STARTの機能を働かせます。再生タイトルやチャプター等を設定する必要があります。

③ TITLE PLAY MODE

Single： 通常のDVDプレーヤーモードでDVDディスクの1タイトルの再生が終了すると停止します。
All ： DVDディスクの1タイトルの再生が終了すると次のタイトルを再生し、全てのタイトルの再生を行います。

④ REPEAT MODE

OFF/CHAPTER/TITLE/DISCに切り換わります。
TITLE PLAY MODEをALLに設定すると、DISCの項目が追加されます。

OFF ：DVDプレーヤーは通常の状態で繰り返し再生はしません。
CHAPTER
：（DVDディスクの場合）1チャプターだけを繰り返し再生します。
：（ビデオCD、CDの場合）1トラックだけを繰り返し再生します。
TITLE ：（DVDディスクの場合）1タイトルだけを繰り返し再生します。
：（ビデオCD、CDの場合）ディスクのすべてを繰り返し再生します。
DISC ：（DVDディスクの場合のみ）ディスクの全てを繰り返し再生します。

⑤ BAUD RATE

RS-232Cインターフェースのボーレートを設定します。ボーレートは、4800bpsと9600bpsの2つから選択できます。

⑥ TRAY LOCK

ONに設定すると、ディスクトレイの開閉動作を禁止する機能です。

⑦ BLACKBOARD LOCK

ONに設定すると、ビデオブラックボードの入力モードに入ることを禁止する機能です。

⑧ STACK MODE OSD

スタック実行時のOSD（On Screen Display:画面表示）表示のON/OFFをコントロールします。

ON ： スタック実行時やサーチ時の画面に**STACK**の表示が出ます。

OFF ： **STACK**表示が出ません。

⑨ REV STEP/REV PLAY

リバース時に映像を戻す単位を選択します。

VOBU

： 再生するディスクにもよりますが通常は0.4から1秒のブロック単位で戻ります。

Frame

： 1コマ（Frame）ごとに戻します。

⑩ PLAYER CONTROL PANEL

マウスで制御できるプレーヤーコントロールパネルの表示モードを選択します。

Selectable

： マウスの左と右ボタンを同時に押す（クリック）か左ボタンを押したまま、右ボタンをクリックしてプレーヤーコントロールパネルが表示されます。

Always On

： プレーヤーコントロールパネルを常時表示させます。ただし各種設定画面等では表示が消えることがあります。

Always Off

： プレーヤーコントロールパネルを表示しません。

⑪ SETUP LOCK (MOUSE)

プレーヤーコントロールパネルからSETUP　またはADV.SETUPメニューを起動させるか否かを設定します。

ON ： プレーヤーコントロールパネルからSETUP またはADV.SETUPメニューが起動できなくします。

OFF ： プレーヤーコントロールパネルの中のSETUPボタンをマウスで左クリックすると、SETUPメニューが、ADV.SETUPボタンを左クリックするとADV.SETUPメニューが起動します。

⑫ EXTERNAL OPTION SW

外部オプションスイッチのキーの設定を行います。

Standard ： 外部オプションキーの全てが入力可能になります。

Limit ： 外部オプションキーの中で、次の入力のみが可能になります。
上下左右カーソル、ENTER、数字キー1〜6、STACK GROUP1〜6、TOP MENU、MENU

⑬ SYNC OUT(DURING SQ)

この機能はプレーヤーが映像出力しない時、黒画面、またはブルーバック出力に映像同期信号を出力するか、出力しないかの設定です。

OFF ： 映像は常に出力します。（同期信号はなくなりません。）

ON ： 再生中、メニュー画面表示中以外のときは映像出力されません。

⑭ EXTERNAL SYNC

外部同期を入力するとき、同期させるTV信号形式を選びます。

OFF ： 外部同期機能を禁止します。

NTSC ： 再生するDVDディスクがNTSCの場合

PAL ： 再生するDVDディスクがPALの場合

⑮ AV SYNC COMPENSATE

外部同期を使用した使いかたをする場合、プレーヤー単独で使用する場合と、複数台を並行運転させて映像のフレームを合わせる場合で設定します。

ON ： プレーヤー単独で使用する場合

OFF ： 複数台を並行運転させて映像のフレームを合わせる場合

⑯ KEYBOARD

ビデオブラックボードの中で文字を入力する場合、使用するキーボードのタイプを選択します。

Japanese ： 日本語キーボード（JIS配列）を使用するとき

English ： 英語キーボード（ASCII配列）を使用するとき

ご注意

再生中には以下の項目の変更はできません。
必ずディスクが停止しているときに行ってください。

- REV STEP/REV PLAY
- EXTERNAL SYNC
- AV SYNC COMPENSATE

マウスによるプレーヤーコントロール機能

PS/2マウスを本機に接続してから電源を入れることでマウスが使用できるようになります。

DVD **Video CD**

ボタンの選択

DVDメニュー上のボタンまたは映像上のボタンの選択がマウスを使ってできます。
ボタンのある場所では ↖ 印から 👆 印に変わります。👆 の状態でそれぞれのボタンをマウスボタンで左クリックすると、リモコンのボタンと同様な操作ができます。
●ビデオ CD ではマウスによるメニュー選択はできません。

DVD **Video CD** **CD**

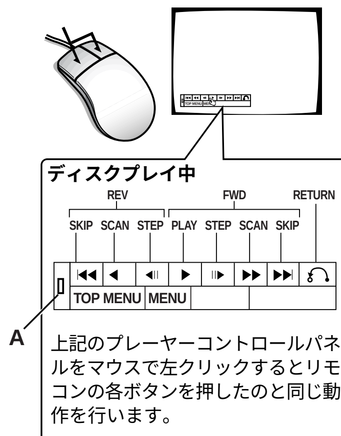
プレーヤー・コントロールパネルについて

マウスの左と右のボタンを同時に押すか左ボタンを押しながら右クリックすることでプレーヤー･コントロールパネルが画面下に表示されます。マウスのポインタをプレーヤー･コントロールパネルに重ねると、↖ 印から 👆 印に変わります。👆 の状態でそれぞれのボタンをマウスボタンで左クリックすると、リモコンのボタンと同様な操作ができます。

機能 ＼ ディスク	DVD	ビデオ CD	CD
►►I	○	○	○
►►	○	○	○
II►	○	○	—
►	○	○	○
◄II	○	—	—
◄◄	○	○	○
I◄◄	○	○	○
(RETURN)	○	○	—
TOP MENU	○	—	—
MENU	○	—	—

● 市販されているDVD-VIDEOディスクの中には映像上のボタンの位置が、認識されている位置とは異なるものがあります。それらのディスクでは、マウスを使用せずにリモコンをご使用ください。

● DVD の場合



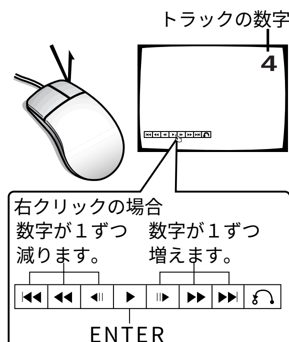
上記のプレーヤーコントロールパネルをマウスで左クリックするとリモコンの各ボタンを押したのと同じ動作を行います。

●ADV.SETUP メニューの SETUP LOCK(MOUSE)の項を OFF に設定すると、プレーヤーコントロールパネルに SETUP 及び ADV.SETUP のボタンが表示され、それぞれのSETUPメニューにマウスをクリックすることで入ることができます。
●上記SETUP LOCK(MOUSE)の項をOFFにした場合、A 点を左クリックしたままドラッグするとプレーヤーコントロールパネルの位置を変更することができます。変更した場合、電源を OFF するまではその位置が保持されます。
●電源ON/OFFでパネルの位置は初期化され元に戻ります。また OSD Position の変更とビデオブラックボードの表示を行った場合も初期化されます。

ご注意
● PAL ディスク再生時にはプレーヤーコントロールパネルの位置の変更は行えません。
●SETUPメニューの[OSD Position]が[Wide]の設定時とビデオブラックボード表示時はプレーヤーコントロールパネルの位置変更は行えません。

●ビデオ CD の場合

左クリックの場合は、アイコンの示すマーク通りの動作をします。PBC 再生のメニュー画面ではマウスで直接選ぶことはできません。プレーヤーコントロールパネルを図のように右クリックすることで画面右上に数字が表示されカーソル ► 右ボタンを押すことで入力された数字のトラック（曲またはタイトル）を選択することができます。



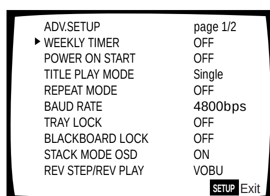
ご注意
マウス操作が禁止されているディスクや、入力された数字のタイトルが無い場合は実行されません。

応用操作

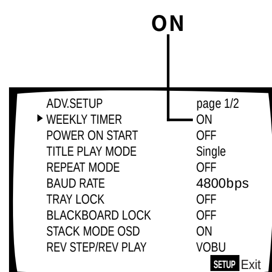
ウィークリータイマー機能　操作・表示仕様

DVD **Video CD** **CD**

1

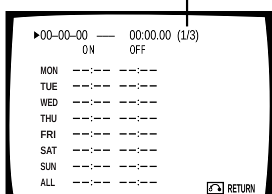


2

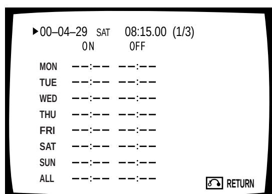


3-4

3ページのうちの1ページ目であることを示します



5



ご注意

- 内部の時計の誤差は月差±２分程度です。（使用環境によって異なります。）
- 内部の時計機能は、大容量キャパシタにより動作しています。電源コードがコンセントに接続してあれば、本機はスタンバイ状態でも時計機能は働いています。電源コードが抜かれると約７～１０日間（十分に充電した場合で２５℃の時）時計機能は働きます。
- ウイークリータイマーの設定情報は時計と関わらず電源コードが長時間抜かれても保持されます。

現在時刻の合わせかた／修正のしかた

現在の年月日および時刻を合わせる

1 ▲ または ▼ で、▶（ポインタ）をWEEKLY TIMERに合わせる。

2 ◀ または ▶ を押し、ONにする。

3 ENTER を押す。

- ウィークリータイマー設定画面になります。

4 ENTER を押す。

- 点滅して年月日、時刻設定画面になります。

5 時刻を設定する。

- 年（2 桁）、月、日、曜日、時、分、秒の順に設定します。

設定の方法は次の２通りあります。

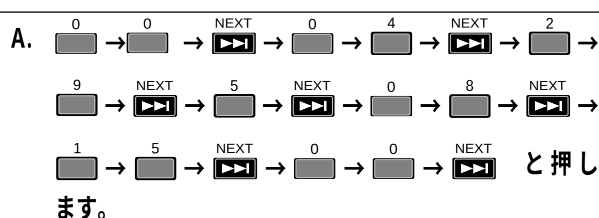
A.数字ボタン、NEXT ▶▶| を使用する。

B. ▲ または ▼ 、ENTER ボタンを使用する。

- **以降の説明で、A、Bと書かれている項目は、上記の各操作をした場合です。**

例）2000年4月29日、土曜日、午前8時15分0秒に合わせるとき

A.



と押します。

＊曜日は、次の数字ボタンで設定します。

月(MON.):0、　火(TUE.):1、　水(WED.):2、
木(THU.):3、　金(FRI.):4、　土(SAT.):5、
日(SUN.):6

B. ▲ または ▼ を押し、00に合わせ、ENTER を押す。次の項目（この場合は月）に移るので、同様に月、日、曜日、時、分、秒を設定し、ENTER を押すと設定を終了します。

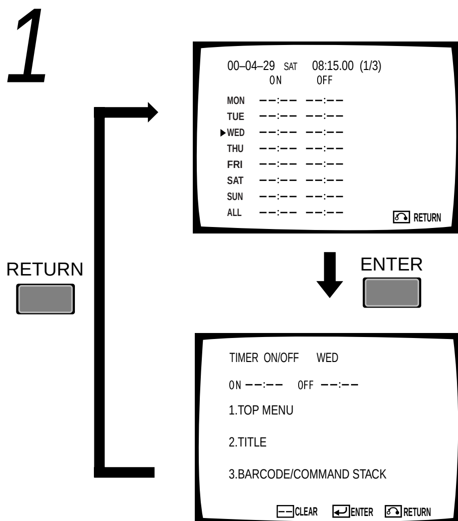
時刻の修正のしかた

手順３の設定画面で、ENTER を押すと、年の数字が点滅を始めます。NEXT ▶▶| を４回押し、時刻の数字が点滅するようにします。そして上記の方法で設定します。

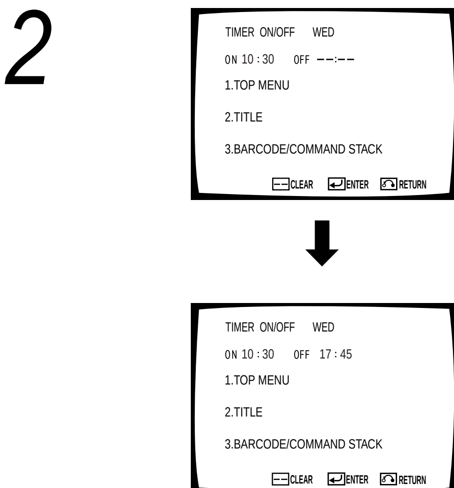
DVD **Video CD** **CD**

ウィークリータイマー設定のしかた

1



2



●画面中のENTERを選ぶと、設定を決定してこの画面を終了します。RETURNを選ぶと、設定を無効にして前の画面に戻ります。

1. 前ページの手順3の画面で、電源を入／切する曜日を ▲ または ▼ で、▶（ポインタ）を合わせ、ENTER を押す。

● 電源の入／切する時刻設定画面になります。

2. 電源の入／切時刻を設定する。

例1）水曜日の10時30分に電源が入る設定

● ▶(ポインタ）をWEDに合わせ、ENTER を押します。

A. 1 → 0 → NEXT → 3 → 0 → NEXT → NEXT と押す。

B. ▲ または ▼ を押し、10に合わせ、ENTER を押すと、次の項目に移る。▲ または ▼ を押し、30に合わせ ENTER を2回押す。

● 電源を切る時刻を設定しないと、電源が入るのみとなります。

例2）水曜日の10時30分に電源が入り、17時45分に電源が切れる設定

A. 1 → 0 → NEXT → 3 → 0 → NEXT → 1 → 7 → NEXT → 4 → 5 → NEXT と押す。

B. ▲ または ▼ を押し、10に合わせ、ENTER を押すと、次の項目に移ります。この操作を繰り返し、30、17、45と設定する。

参考

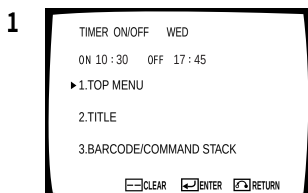
電源の入る時刻を設定せずに、電源の切れる時刻のみを設定することもできます。そのときは電源が入っている状態から、設定時刻に電源が切れます。

●ウィークリータイマーの設定は、リモコン以外にマウスでも設定できます。
●の表示がでる位置でマウスの左ボタンをクリックすると、選択または設定の変更をすることができます。
●数字は、マウスの左ボタンでクリックするごとに「1」増加し、右ボタンをクリックするごとに「1」減少します。

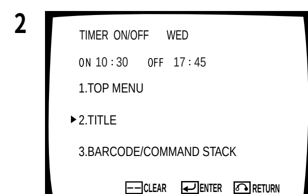
応用操作

3

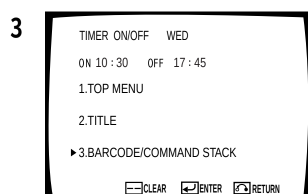
1



2



3



参考
電源コードを抜いてもプログラムの内容は保持されます。

3. タイマー再生が始まるときの動作を設定する。

1. TOP MENU: ディスクの最初のメニュー画面から再生する設定

2. TITLE: タイトルとチャプターを指定した再生の設定

- 下記「タイトルとチャプターを指定した再生をする場合」を参照ください。

3. BARCODE/COMMAND STACK: 記憶したバーコードスタック／コマンドスタックのグループを呼び出して映し出すときの設定

- 「記憶したバーコードスタック／コマンドスタックのグループを呼び出して映し出す場合の設定」を参照ください。（47ページ）
- 上記いずれかを ▲ または ▼ で選択し、ENTER を押す。

ご注意

- 電源の入る時刻を設定していないときは、この設定はできません。
- メモリーへの書き込みは、タイマー設定画面を終了したときに行われます。それ以前に電源を切るとタイマー設定は記憶されません。
- 自動的に再生を始めるように設定されたDVDディスクでは設定通り動作しません。

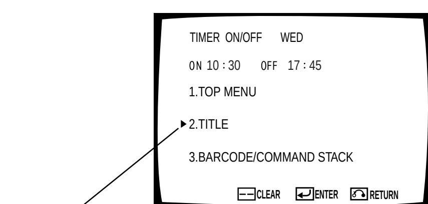
DVD **Video CD** **CD**

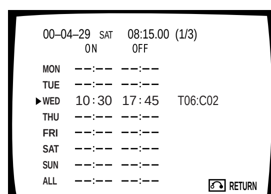
設定したプログラムの消しかた

タイマーON/OFFの時刻入力画面（左図）でリモコンの CLEAR を押してから ENTER を押す。

DVD **Video CD** **CD**

タイトルとチャプターを指定した再生をする場合





- 画面中の ENTER を選ぶと、設定を決定してこの画面を終了します。RETURN を選ぶと、設定を無効にして前の画面に戻ります。

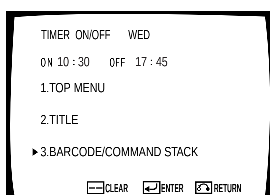
- ▶（ポインタ）を **2. TITLE** に合わせ ENTER を押します。

例）タイトル 6 のチャプター 2 から再生

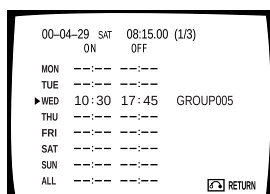
A. 0 → 6 → NEXT ⏭ → 0 → 2 → NEXT ⏭ **と押す。**
B. ▲ **または** ▼ **を押し、06に合わせ、ENTER を押すと、次の項目に移る。▲ または ▼ を押し、02に合わせ ENTER をを押す。**

ご注意

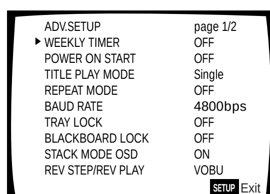
- タイトルとチャプターを選択したときは、選択したチャプターを再生後、選択したチャプター以降にチャプターがある場合は再生を続けます。そして、指定したタイトルの終わりで再生を終了します。
ただし、ADV.SETUPメニューでリピート再生を設定した場合、選択したチャプターの再生後に、指定通りのリピート再生をします。
- CD、ビデオCDを使用して、トラックを設定する場合は、上記の設定方法で、CHAPTERの項目に指定するトラックナンバーを入力してください。タイトル、バーコードスタック／コマンドスタックに入力した内容は働きません。







●画面中の ENTER を選ぶと、設定を決定してこの画面を終了します。RETURNを選ぶと、設定を無効にして前の画面に戻ります。



DVD **Video CD** **CD**

プレーヤーの電源のみ ON させる場合の設定

タイトルを選択するときに、ディスクにはないタイトルを入力します。

例）タイトル 99 を入力する

DVD

記憶したバーコードスタック／コマンドスタックのグループを呼び出して映し出す場合の設定

● ▶（ポインタ）を **3.BARCODE/COMMAND STACK** に合わせ ENTER を押します。

例）バーコードスタック／コマンドスタックのグループの 5 を設定するとき

A. 5 → NEXT と押す。

B: ▲ または ▼ を押し、0 0 5 に合わせ、ENTER を押す。

以上でタイマー設定が完了します。

ご注意

バーコードスタック／コマンドスタックのグループを選択した場合、ADV.SETUP メニューの中のリピートモードの ON/OFF の設定にかかわらずグループ内のコマンドスタックを繰り返し実行します。

DVD **Video CD** **CD**

ウィークリータイマーの設定を残したまま、タイマー設定を働かせない方法

1. **ADV.SETUP メニュー画面で、リモコンの ▲ または ▼ で ▶（ポインタ）を WEEKLY TIMER の項目に合わせ、リモコンの ◀ または ▶ で OFF にします。**

応用操作



●画面中の ENTER を選ぶと、設定を決定してこの画面を終了します。RETURN を選ぶと、設定を無効にして前の画面に戻ります。

DVD **Video CD** **CD**

ウィークリータイマー設定の拡張機能

ウィークリータイマーの設定で曜日を変えることができます。これにより、同じ曜日に2度以上の電源のON/OFFができるように設定できます。さらに、曜日に **ALL** を設定することにより、毎日同じ時刻に電源の ON/OFF ができるように設定できます。

DVD **Video CD** **CD**

ウィークリータイマーの曜日の設定のしかた

1 ウィークリータイマーの設定画面にします。

44、45 ページを参照し、ウィークリータイマー設定画面にします。

2 ON の時刻入力の箇所が点滅しているときに、PREV を押す。

曜日の箇所が点滅します。

3 ▲ または ▼ で設定したい曜日に合わせます。

上記手順 3 で ▲ または ▼ を押すと MON、TUE、WED、THU、FRI、SAT、SUN、ALL の 8 つの項目に切り換わります。ALL を指定したときのウィークリータイマーの動作は、49 ページを参照ください。

4 NEXT を押す。

以降、ON/OFF タイマー等の設定は、45 ページを参照ください。

リモコン以外でもマウスで設定できます。曜日の箇所をマウスで左クリックすると曜日が切り換わります。

DVD Video CD CD

同じ曜日に２回以上電源をON/OFFする設定

例１）のように設定すると、日曜日の７時30分に電源が入り、タイトル１のチャプター１から再生して、12時00分に電源が切れます。そして、13時00分になると再び電源が入り、次にタイトル２のチャプター１を再生し、17時30分に電源が切れます。

このような設定で同じ曜日に最大24回までON/OFFの時間が設定できます。

例１）

00–04–29 SAT 08:15.00 (1/3)

	ON	OFF	
MON	--:--	--:--	
TUE	--:--	--:--	
WED	--:--	--:--	
THU	--:--	--:--	
FRI	--:--	--:--	
SUN	07:30	12:00	T01 : C01
▶SUN	13:00	17:30	T02 : C01
ALL	--:--	--:--	

RETURN

リスト表示

DVD Video CD CD

毎日同じ時刻に電源をON/OFFする設定

例２）48ページを参照して、曜日の箇所をALLに設定すると、毎日同じ時刻に電源のON/OFFを設定できます。
例２）の場合は、毎日７時30分に電源が入り、タイトル１のチャプター１から再生し17時30分に電源が切れます。

例３）例２）の設定で、日曜日のみ電源を入れたくない場合は、日曜日のOFFの時刻に、ALLで設定したONの時刻と同じ時刻を設定します。この時、日曜日のONの時刻には、何も設定しません。
例３)では、日曜日は常に電源をOFFし、それ以外の曜日は７時30分に電源が入り、タイトル１のチャプター１から再生し17時30分に電源が切れます。

例２）

00–04–29 SAT 08:15.00 (1/3)

	ON	OFF	
MON	--:--	--:--	
TUE	--:--	--:--	
WED	--:--	--:--	
THU	--:--	--:--	
FRI	--:--	--:--	
SAT	--:--	--:--	
SUN	--:--	--:--	
▶ALL	07:30	17:30	T01 : C01

RETURN

リスト表示

例３）

00–04–29 SAT 08:15.00 (1/3)

	ON	OFF	
MON	--:--	--:--	
TUE	--:--	--:--	
WED	--:--	--:--	
THU	--:--	--:--	
FRI	--:--	--:--	
SAT	--:--	--:--	
▶SUN	--:--	07:30	
ALL	07:30	17:30	T01 : C01

RETURN

リスト表示

DVD Video CD CD

ONの時刻とOFFの時刻で日付が変わる設定

例４）のように設定すると、月曜日の23時に電源が入り、火曜日の２時（月曜日の深夜）に電源が切れます。

例４）

00–04–29 SAT 08:15.00 (1/3)

	ON	OFF	
MON	23:00	--:--	T01 : C01
TUE	--:--	02:00	
WED	--:--	--:--	
THU	--:--	--:--	
FRI	--:--	--:--	
SAT	--:--	--:--	
▶SUN	--:--	--:--	
ALL	--:--	--:--	

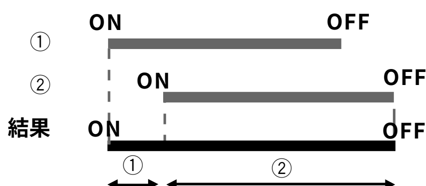
RETURN

DVD **Video CD** **CD**

ウィークリータイマーが重なったときの例

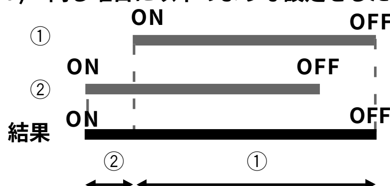
同じ曜日にON時刻とOFF時刻の重なりがある場合は、以下のような動作になりますのでご注意願います。

例5）　同じ曜日に以下のような設定をした場合



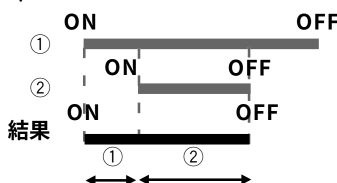
例5)の動作
①の**ON**時刻で電源が入り、①で設定した動作をします。次に②の電源**ON**時刻で②で設定した動作をします。①の**OFF**時刻は動作せずに②の**OFF**時刻で電源が切れます。

例6）　同じ曜日に以下のような設定をした場合



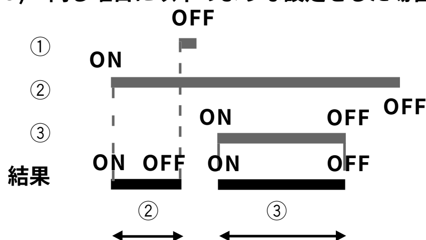
例6)の動作
②の**ON**時刻で電源が入り、②で設定した動作をします。次に①の電源**ON**時刻で①で設定した動作をします。②の**OFF**時刻は動作せずに①の**OFF**時刻で電源が切れます。

例7）　同じ曜日に以下のような設定をした場合



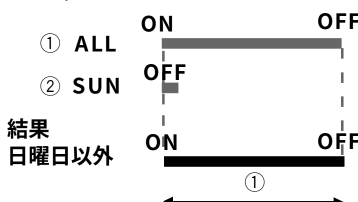
例7)の動作
①の**ON**時刻で電源が入り、①で設定した動作をします。次に②の電源**ON**時刻で②で設定した動作をします。②の**OFF**時刻で電源が切れます。

例8）　同じ曜日に以下のような設定をした場合



例8)の動作
②の**ON**時刻で電源が入り、②で設定した動作をします。次に①の電源**OFF**時刻で一度電源が切れます。次に③の**ON**時刻で電源が入り、設定した動作をします。③の**OFF**時刻で電源が切れます。

例9）　ALLとSUNに以下のような設定をした場合
(①のONと②のOFF時刻が同じ時刻)



例9)の動作
①の**ALL**(毎日)の**ON**時刻で電源が入りますが、日曜日だけは動作しません。その結果、日曜日以外は①の**ON**時刻で電源が入り、**OFF**時刻で電源が切れます。日曜日は動作しません。

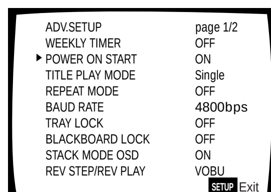
ご注意
同一時刻にONとOFFが設定されている場合は、その時刻になる前のプレーヤーの状態により動作が異なります。
例9)はON、OFFを同じ時刻に設定したとき、その時刻になる前のプレーヤーは、電源はOFF(スタンバイ)状態の場合です。
ON、OFFを同じ時刻に設定した状態で、その時刻になる前のプレーヤーはONの状態の場合、②のOFFは動作しません。

パワーオンスタート機能

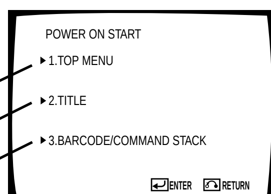
DVD **Video CD** **CD**

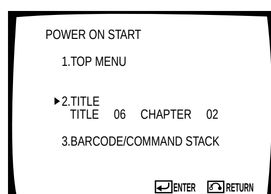
パワーオンスタート機能の設定

1-2

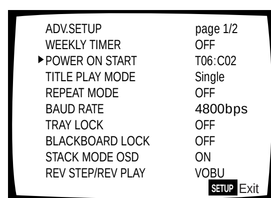


3









タイトルとチャプターを指定

- 画面中の ENTER を選ぶと、設定を決定してこの画面を終了します。RETURN を選ぶと、設定を無効にして前の画面に戻ります。

1. ▲ または ▼ を押し、▶（ポインタ）を POWER ON START に合わせる。
2. ◀ または ▶ を押し、ON にする。
3. ENTER を押す。

- パワーオンスタート設定画面になります。

1. TOP MENU: ディスクの最初のメニュー画面から再生する設定
2. TITLE : タイトルとチャプターを指定した再生の設定
3. BARCODE/COMMAND STACK : 記憶したバーコードスタック／コマンドスタックのグループを呼び出して映し出す場合の設定

上記いずれかを ▲ または ▼ で選択し、ENTER を押します。

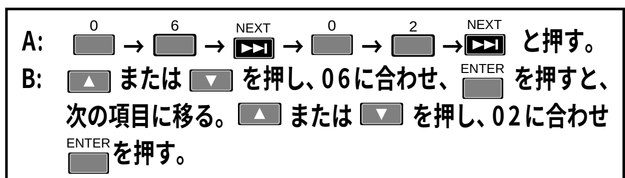
1. 最初のメニューから再生する場合

- ▶（ポインタ）を **1.TOP MENU** に合わせ ENTER を押します。

2. タイトルとチャプターを指定した再生をする場合

- ▶（ポインタ）を **2.TITLE** に合わせ ENTER を押します。

例） タイトル 6 のチャプター 2 から再生

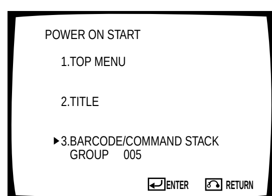


ご注意

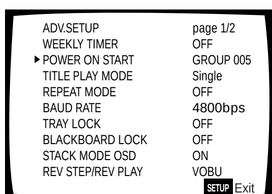
CD、ビデオCDを使用してトラックを設定する場合は、上記の設定方法で、CHAPTERの項目に指定するトラックナンバーを入力してください。タイトル、バーコードスタック／コマンドスタックに入力した内容は働きません。

パワーオンスタート機能の設定は、リモコン以外にマウスでも設定できます。

- ☝ の表示がでる位置でマウスの左ボタンをクリックすると、選択または設定の変更をすることができます。
- 数字は、マウスの左ボタンでクリックするごとに「1」増加し、右ボタンをクリックするごとに「1」減少します。

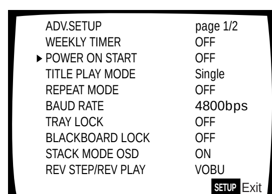






バーコードスタック／コマンドスタックを指定

- 画面中の ENTER を選ぶと、設定を決定してこの画面を終了します。RETURN を選ぶと、設定を無効にして前の画面に戻ります。



参考
記憶されたデータは電源コードを抜いても保持されています。

3. 記憶したバーコードスタック／コマンドスタックのグループを呼び出して映し出す場合

- ▶（ポインタ）を **3.BARCODE/COMMAND STACK** に合わせ ENTER ボタンを押します。

例）バーコードスタック／コマンドスタックのグループの 5 を実行するように設定するとき

A: 5 → NEXT ⏭ **と押す。**

B: ▲ **または** ▼ **ボタンを押し、005に合わせ、** ENTER **ボタンを押す。**

- ADV.SETUP メニューの設定画面に戻ります。**POWER ON START** の項目に設定した内容を表示します。
  以上で、電源を入れたときの動作の設定が完了します。

ご注意
自動的に再生を始めるディスクでは、指定通り動作しません。

DVD **Video CD** **CD**

プレーヤーの電源のみ ON させる場合の設定

タイトルを選択するときに、ディスクにはないタイトルを入力します。

例）タイトル 99 を入力する

DVD **Video CD** **CD**

パワーオンスタート機能をOFFにする

1. ADV.SETUPメニュー画面で、リモコンの ▲ または ▼ ボタンで▶（ポインタ）を POWER ON STARTの項目に合わせ、リモコンの ◀ または ▶ ボタンでOFFにします。

リモコンでの設定以外にマウスを使用しても設定することができます。
MENU を左ボタンでクリックすると、ADV.SETUP メニューの画面が消えます。

バーコードスタック／コマンドスタック機能

バーコードスタック／コマンドスタック機能を使うと以下のような使い方ができます。

- ディスクに付属しているバーコードブックのコマンドをプレーヤーにあらかじめ記憶させることができます。（バーコードスタック機能）
- バーコードがないディスクの場合や使いたいコマンドがバーコードで用意されていないときは、付属のリモコンで設定することができます。（コマンドスタック機能）
- 記憶した内容を呼び出して連続実行や1ステップずつの実行をリモコンで行うことができます。

重要; レーザーバーコードコンパチブルディスクの場合は、業務用LDで使用するバーコードシートがそのまま使えます。（LB LaserBarcode 2マークが印刷されていることを確認してください。） それ以外のディスクはLB LaserBarcode 2のバーコードシートは使用できません。

重要: ビデオCDおよびCDの場合は、バーコードスタック／コマンドスタック機能は使用できません。

参考

- プレーヤーに記憶できる最大ステップ数はビデオブラックボードと合計して300ステップまでです。
- 記憶したデータは電源コードを抜いても保持されます。

DVD

基本的な使い方

バーコードスタック／コマンドスタック機能の使用方法を次に示します。
各項目の詳しい設定方法は矢印（➡）のページを参照してください。

1. リモコンでバーコードスタック／コマンドスタック設定画面にする。➡54ページ

2. バーコードリーダーでバーコードを読み取り、プレーヤーに転送する。➡55ページ

- リモコンで入力することもできます。
  レーザーバーコードコンパチブルディスクの場合
  ➡59ページ
  通常のDVDディスクの場合
  ➡54～58ページ

3. 再生したい順で手順2を繰り返し入力する。

4. 入力の終了後、プレーヤーのメモリーに保存する。
➡60ページ

5. 実行する。➡69、70ページ

DVD

発展的な使い方

本機のバーコードスタック／コマンドスタック機能は、以前に入力したコマンドに影響しないようにグループを分けて記憶させることができます。例えば、複数のディスクの内容を個別に記憶したり、多人数で1つのプレーヤーを共有して使用するときに便利です。

すでに記憶した内容と別のグループに登録するとき

1. 新しいグループを登録する ➡62ページ
バーコードスタック／コマンドスタック入力画面の右上の「GROUP 002」が記憶するグループナンバーです。実行するときにこのグループナンバーが必要になります。忘れないように控えておいてください。

2. バーコードリーダーでバーコードを読み取り、プレーヤーに転送する。➡55ページ

- リモコンで入力することもできます。
  レーザーバーコードコンパチブルディスクの場合
  ➡59ページ
  通常のDVDディスクの場合
  ➡54～58ページ

3. 再生したい順で手順2を繰り返し入力する。

4. 入力の終了後、プレーヤーのメモリーに保存する。
➡60ページ

5. 実行する。➡69、70ページ
このとき、手順1で控えておいたグループナンバーを選んでください。

参考
プレーヤーのメモリーに記憶したコマンドは、グループを統合したり分割したりすることができます。**➡65～68ページ**
ただし、コマンドの順序を入れ換えることはできません。

バーコードスタック／コマンドスタック設定のしかた

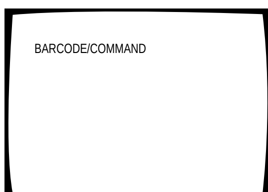
ＬＤ用のバーコード、ＤＶＤ用のバーコードのコマンドをプレーヤーが記憶します。記憶した内容を呼び出して連続実行や１コマずつのステップで実行することができます。
保存されたデータは電源コードを抜いても保持されます。

DVD

バーコードスタック／コマンドスタックの設定画面にするには

1

バーコード／コマンド画面

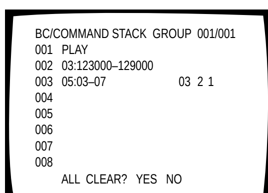


1. MEMORY **を押す。**

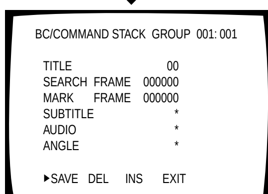
- **BARCODE/COMMAND** と表示します。

ご注意
プレーヤーコントロールパネル表示中はこのモードに入れません。

2







2. ENTER **を押す。**

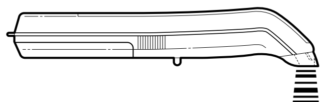
- バーコードスタック／コマンドスタック画面になります。
- すでに、バーコードスタック／コマンドスタックが入力されているときは、それらの情報が表示されます。
  すでに入力してあるバーコードスタック／コマンドスタックを消してから入力するか､追加して入力するかを設定します。
- 最初から入力するときは、◀ または ▶ でＹＥＳを選び ENTER を押す。
- 追加入力する場合は、◀ または ▶ でＮＯを選び ENTER を押す。
- ENTER を押すと､バーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。
- 何も設定されていない場合は、バーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

- この画面での設定のしかたを次ページ以降で説明します。
- バーコードスタック／コマンドスタックは､バーコードリーダー（別売）で直接設定する方法とリモコンを使って設定する方法の２通りあります。

DVD

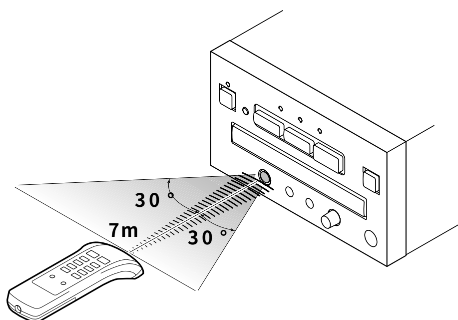
バーコードリーダーで直接設定する方法

1



1. バーコードリーダーでバーコードを読み取る。

2



2. プレーヤーに送信する。

例 1）　「PLAY」を読み取り送信
例 2）　「タイトル 8 のチャプター 5 から 12 までをサブタイトル 3・音声 2・アングル 1 で再生」を読み取り送信

DVD

リモコンで設定する方法

リモコンでバーコードコマンドのプレイ►、一時停止II、◄II静止／コマ送りII►、停止■の 5 つのコマンドと、WAIT 及び GO TO GROUP を設定することができます。
さらにチャプターサーチ、チャプター再生、フレームサーチ、フレームセグメント再生*をリモコンで設定することができます。
* フレームセグメント再生とは､任意のフレーム間を再生することです。

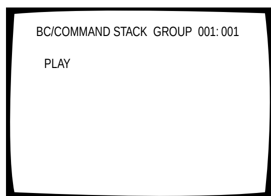
TITLE/CHP FRM/TIME を押す。

- TITLE の数字が点滅し、入力モードになります。

例 1）「再生」する



を押す。

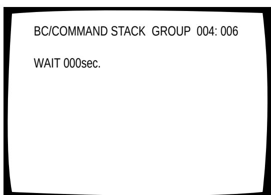


- バーコードスタック／コマンドスタック入力画面で「PLAY」と表示し、次の入力画面に切り換わります。

例 2）待ち時間を入力する

1. 

を長押しする

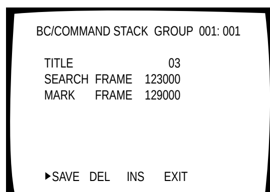


- 画面に「WAIT 000 sec」と表示されます。

2. **待ち時間の秒数を数字ボタンで入力する**

- 最大 999 秒まで入力できます。

3. **NEXT を押す（完了）**



右記の例を入力した場合

ご注意

サーチフレームとマークフレームの差が 24 フレーム以下の設定はできません。25 フレーム以上を入力するようにしてください。

例 3)「タイトル 3 のフレーム 123000 から 129000 までを再生」する。

1. TITLE/CHP FRM/TIME **を押す。**

- TITLE の数字が点滅します。

2. 3 → NEXT **と押す。**

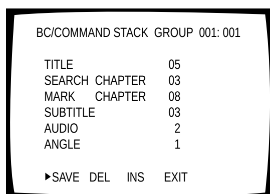
- タイトル 3 を決定し、フレームの入力モードになります。

3. 1 → 2 → 3 → 0 → 0 → 0 → NEXT **と押す。**

- 開始フレームナンバーを決定します。
- 再生をしながらここまでの操作を行った場合は、入力した開始フレームをサーチします。

4. 1 → 2 → 9 → 0 → 0 → 0 → NEXT **と押す。**

- 終了フレームナンバーを決定します。
- 再生中では、上記の手順 3 〜 4 で数字ボタンで指定する代わりに ENTER を押すと、再生中のフレームナンバーを入力します。



右記の例を入力した場合

参考

例 4）のように、チャプター 7 の最後まで再生したい場合は、1 をプラスした 8 を MARK CHAPTER に入力します。

例 4)「タイトル 5 のチャプター 3 から 7 までを、サブタイトル 3・音声 2・アングル 1 で再生」する。

1. TITLE/CHP FRM/TIME **を押す。**

- TITLE の数字が点滅します。

2. 5 → NEXT **と押す。**

- タイトル5を決定し、チャプターの入力モードになります。

3. TITLE/CHP FRM/TIME **を押し、SEARCH CHAPTERに合わせる。**

- この項目は、再生を開始するチャプターナンバーです。
- 押すごとに、チャプターとフレームが切り換わります。

4. 3 → NEXT **と押す。**

- 開始チャプターナンバーを決定します。

5. 8 → NEXT **と押す。**

- 終了チャプターナンバーを決定します。

6. 3 → NEXT **と押す。**

- サブタイトル 3 を決定します。

7. 2 **を押す。　（** NEXT **は押さない）**

- 音声 2 を決定します。

8. 1 **を押す。　（** NEXT **は押さない）**

- アングル 1 を決定し、次のステップに移ります。

詳細表示

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  001: 001

TITLE              00
SEARCH  FRAME   000000
MARK    FRAME   ------
SUBTITLE           01
AUDIO               2
ANGLE               3

▶SAVE  DEL   INS   EXIT
```

DISPLAY を押すと、下図に切り換わります。

一覧表示

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  001/ 001
001▶SUBTITLE 01   AUDIO 2   ANGLE 3
002   03:10000–15000
003
004
005
006
007
008
  ▶SAVE  DEL   INS   EXIT
```

例 5）サブタイトル 01・音声 2・アングル 3 の設定コマンドを入力する

1. TITLE の数字が点滅しているときに、TITLE に 00 を入れる。
（NEXT は押さない）

2. SUBTITLE を押す。

3. SUBTITLE の数字が点滅するので、1、NEXT を押す。

4. AUDIO の数字が点滅するので、2 を押す。

5. ANGLE が点滅するので 3 を押す。

- 開始フレームと終了フレームを指定した再生コマンドの場合、サブタイトル・音声・アングルを同時に設定することはできません。上記のサブタイトル・音声・アングル設定コマンドをフレーム区間再生コマンドの前におくと、指定の設定で区間再生を実行します。

左上のように入力すると、タイトル 3 のフレーム 10000 から 15000 までをサブタイトル 1・音声 2・アングル 3 に設定して再生します。

フレーム区間再生コマンド以外のフレームサーチ・チャプターサーチ・チャプター区間再生コマンドの場合は、それらのコマンドの中で指定した設定が有効になります。

1.

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  001: 001

TITLE              03
SEARCH  FRAME   123000
MARK    FRAME   129000



▶SAVE  DEL   INS   EXIT
```

2.

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  001: 002

TITLE              00
SEARCH  FRAME   000000
MARK    FRAME   ------
SUBTITLE            *
AUDIO               *
ANGLE               *

▶SAVE  DEL   INS   EXIT
```



```
BC/COMMAND STACK  GROUP  001: 002

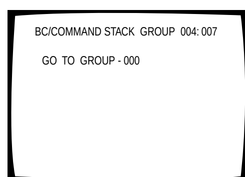
REPEAT
```

例6）例3「タイトル3のフレーム123000から129000までを再生」のリピート再生をする設定

1. 例 3 の手順 1 〜 4 を行う。
- バーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

2. TITLE の数字が点滅しているときに、RPT A-B を押す。
- 画面に「REPEAT」を表示します。

例 7）他のグループにジャンプするコマンドを入力する



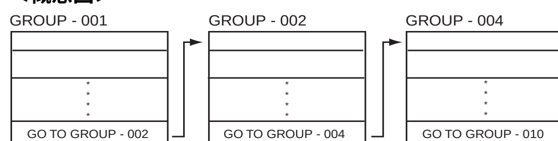
1 TITLE の数字が点滅しているときに、RECALL を押す。

2 左の図のようになるのでジャンプしたいグループの番号を入力し、NEXT を押す。

すでに入力されている GO TO GROUP - コマンドのグループ番号を変更するときは、詳細表示または一覧表示のときに RECALL を押して、番号を入力し直してください。

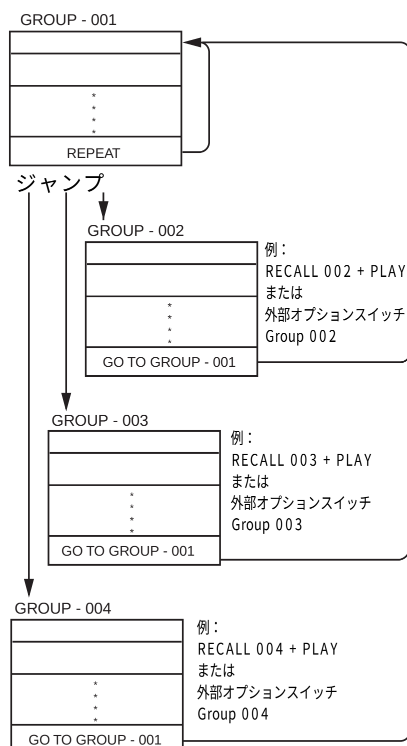
このコマンドを使うと、複数のグループを次々に連続して実行できます。

＜概念図＞



また待機画面用のグループを作り、各グループの実行終了後、待機画面に戻すような使い方もできます。

＜概念図＞



DVD

SUBTITLE,AUDIO,ANGLEの設定のしかた

SUBTITLE：

- 00を入力すると、画面はGUIメニューの背景色で設定した色になり再生画面は見えなくなります。
- 01～32 を入力すると、そのサブタイトル（字幕等）を表示します。
- 33 を入力すると、サブタイトル OFF で再生します。
- 34は、00で再生画面を見えなくしたものを元に戻します。
- 99 を入力すると、前の状態を保持します。SUBTITLE の設定はそのままで、他の設定を変更したいときに使います。
- 35～98 は無効です。

AUDIO:

- 0 を入力すると、音声 OFF で再生します。
- 1～8 を入力すると、その音声を選択して再生します。
- 9 を入力すると、前の状態を保持します。

ANGLE:

- 1～8を入力すると、そのアングルを選択して再生します。
- 9 を入力すると、前の状態を保持します。
- 0 を入力すると、アングル 9 を選択して再生します。

ご注意：

- 「前の状態を保持」にすると、入力画面には「＊」を表示します。
- ディスクに記録されていない数値を入力すると、コマンドスタックは実行できません。

DVD

チャプターサーチまたはフレームサーチのみとするには

MARK CHAPTER または **MARK FRAME** の項目で、設定をせずに NEXT を押します。このときはサーチ後静止画になります。

DVD

入力中に、数値を変更するには

数字ボタンで、もう一度正しい数字（0 を含む）を押してください。また、上の設定場所へ戻るには、PREV を押します。

DVD

入力の途中でキャンセルするには

カーソル ▶ 右ボタンで、▶（ポインタ）を **EXIT** に合わせ、ENTER を押します。

レーザーバーコードコンパチブルディスクの場合の設定

BC/COMMAND STACK GROUP 001: 001

TITLE		LD
SEARCH	FRAME	01500
MARK	FRAME	01800
VIDEO		0
AUDIO		3

右記の例を入力した場合

参考

手順 2 の後で TITLE/CHP FRM/TIME を押すと、チャプターの入力モードになります。SEARCH CHAPTER、MARK CHAPTER の入力のしかたは 56 ページを参照してください。

ご注意

「前の状態を保持」にすると、入力画面には「＊」を表示します。

例）「フレーム1500から1800までを映像なし、音声を「アナログステレオ」を収録したチャンネルで再生」する。

1. TITLE/CHP FRM/TIME ボタンを押す。

- TITLE の数字が点滅します。

2. NEXT ボタンを押し、LD の表示にする。

- レーザーバーコードコンパチブルディスクのコマンドは、必ず TITLE LD の表示にしてください。

3. 1 → 5 → 0 → 0 → NEXT と押す。

- 開始フレームナンバーを決定します。
- 再生をしながらここまでの操作を行った場合は、入力した開始フレームをサーチします。

4. 1 → 8 → 0 → 0 → NEXT と押す。

- 終了フレームナンバーを決定します。

5. VIDEOの数字が点滅するので、0 ボタンを押す。

- 再生映像は見えなくなります。

6. AUDIO数字が点滅するので、3 ボタンを押す。

- 音声を決定し、次のステップに移ります。

VIDEO、AUDIO の設定のしかた

VIDEO

- 1 を入力すると通常の映像を出力します。
- 0 を入力すると画面は GUI メニューの背景色で設定した色になり、再生画面は見えなくなります。
- 9 を入力すると前の状態を保持します。VIDEO の設定はそのままで他の設定を変更したいときに使用します。
- 2 〜 8 は無効です。

AUDIO

レーザーバーコードコンパチブルディスクには、レーザーディスクのデジタル音声、アナログ音声がDVDフォーマットに変換して記録されています。

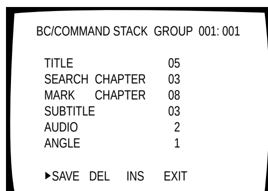
それぞれの音声は下記のように選択できます。

- 0 を入力すると音声無しで再生します。
- 1 を入力すると「アナログ音声 1/L」を再生します。
- 2 を入力すると「アナログ音声 2/R」を再生します。
- 3を入力すると「アナログ音声」をステレオで再生します。
- 5 を入力すると「デジタル音声 1/L」を再生します。
- 6 を入力すると「デジタル音声 2/R」を再生します。
- 7を入力すると「デジタル音声」をステレオで再生します。
- 9 を入力すると前の状態を保持します。
- 4 と 8 は無効です。

DVD

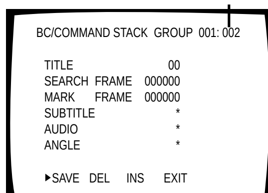
バーコードスタック／コマンドスタック保存のしかた

例の操作で最後まで入力すると数秒後に次のステップのバーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。



その画面で [◀] または [▶] で▶（ポインタ）をSAVEに合わせ、ENTER を押す。

ステップ表示



表示が消えて保存します。

表示が消える

ご注意

- 次のステップのバーコードスタック／コマンドスタック入力画面になる前に▶（ポインタ）を**SAVE**に合わせ、ENTER を押しても保存しません。
- ▶（ポインタ）をEXITに合わせ、ENTER を押した場合保存しません。

DVD

バーコードスタック／コマンドスタック削除のしかた

1. **MEMORY を押す。**

- **BARCODE/COMMAND** と表示します。

2. **ENTER を押す。**

- バーコード／コマンド・スタック画面になります。

3. **[◀] または [▶] でNOを選び ENTER を押す。**

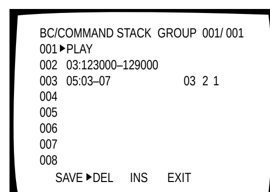
- ENTER を押すと、バーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

4. **DISPLAY を押す。**

- リスト表示になります。

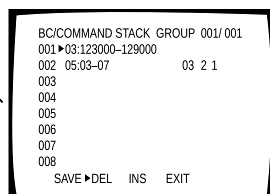
5. **カーソル[▶]右ボタンで、▶（ポインタ）をDELに合わせる。**

6. **[▲] または [▼] で削除するステップを選ぶ。**



7. **ENTER を押す。**

- 選んだステップを削除し、以降のステップが1つ前に移動します。



8. **[◀] で、▶（ポインタ）をSAVEに合わせ、ENTER を押す。**

重要

削除の操作で、手順*7*まで操作した後でも、カーソル[▶]右ボタンを押して、**EXIT**に▶（ポインタ）を合わせ、ENTER を押すと、削除されません。手順*8*でSAVEの操作をしたときに記憶します。

DVD

バーコードスタック／コマンドスタック修正のしかた

例）「003 ステップの音声の設定を 2 から 1 に変える」

1. MEMORY **を押す。**
- BARCODE/COMMAND と表示します。

2. ENTER **を押す。**
- バーコードスタック／コマンドスタック画面になります。

3. ◀ **または** ▶ **で NO を選び** ENTER **を押す。**
- ENTER を押すと、バーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

4. DISPLAY **を押す。**
- リスト表示になります。

5. ▲ **または** ▼ **で 003 ▶ を選ぶ。**

6. TITLE/CHP FRM/TIME **を押す。**
- バーコードスタック／コマンドスタック入力モードになります。

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  001: 003

TITLE              05
SEARCH CHAPTER     03
MARK    CHAPTER    05
SUBTITLE           03
AUDIO               2
ANGLE               1

▶SAVE  DEL   INS   EXIT
```

7. NEXT ▶▶I **を 4 回押し、AUDIO の項目を選ぶ。**

8. 1 **を押す。**

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  001: 003

TITLE              05
SEARCH CHAPTER     03
MARK    CHAPTER    05
SUBTITLE           03
AUDIO               1
ANGLE               1

▶SAVE  DEL   INS   EXIT
```

9. NEXT ▶▶I **を押す。**
- 次のステップのバーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

10. ◀ **で ▶（ポインタ）を SAVE に合わせ、** ENTER **を押す。**

ご注意

修正した内容を保存するためには、最後の項目（例では、ANGLE）まで NEXT ▶▶I を押します。さらに NEXT ▶▶I を押して次のステップのページにします。この「次のページ」で▶（ポインタ）をSAVEに移動し ENTER を押すと保存できます。

修正の途中（修正中のグループ）で▶（ポインタ）をSAVEに移動し ENTER を押しても保存できません。

DVD

バーコードスタック／コマンドスタック追加のしかた

1.「バーコードスタック／コマンドスタックの修正」の手順 1～4 を操作する。

2. ▲ **または** ▼ **で挿入するステップを選ぶ。**

3. ◀ **または** ▶ **で▶（ポインタ）を INS に合わせ、** ENTER **を押す。**
- 選んだステップが空き、以降のステップ番号がひとつずつ繰り下がります。

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  001/ 001
001   PLAY
002▶
003   03:123000–129000
004   05:03–07              03  2 1
005
006
007
008
   SAVE   DEL  ▶INS    EXIT
```

4. TITLE/CHP FRM/TIME **を押す。**
- 入力モードになります。

5. バーコードスタック／コマンドスタックの設定のしかたと同様に設定する。(55～59 ページ)

6. ◀ **で▶（ポインタ）をSAVEに合わせ、** ENTER **を押す。**

応用操作

バーコードスタック／コマンドスタックのグループ化

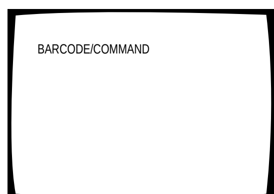
DVD

グループ化のしかた

バーコードスタック／コマンドスタック群のクループ化
バーコードスタック／コマンドスタックは1つのグループとなります。グループを複数作成して、それらを記憶しておくことができます。実行するときは、これらのグループのなかから 1 つを選択して順に連続実行、1 ステップずつの実行などができます。
グループは分割することも削除することもできます。

グループとしての区切りを挿入します。

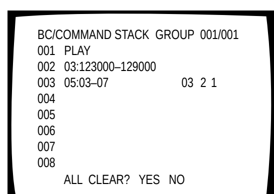
1



1. MEMORY を押す。

- **BARCODE/COMMAND** と表示します。

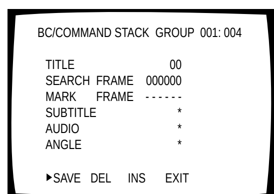
2



2. ENTER を押す。

- バーコードスタック／コマンドスタック画面になります。

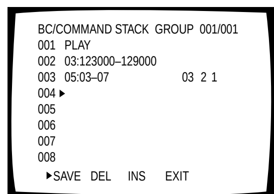
3



3. ◀ または ▶ で NO を選び ENTER を押す。

- ENTER を押すと、バーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

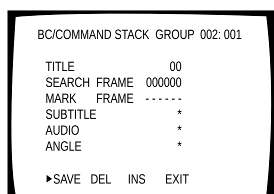
4



4. DISPLAY を押す。

- リスト表示になります。
- 設定済みの番号の次のステップに▶（ポインタ）があることを確認します。

5

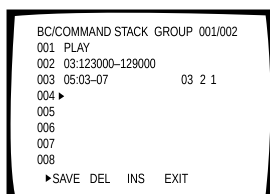


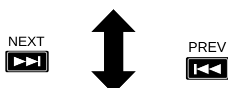
5. NEXT ▶▶| を押す。

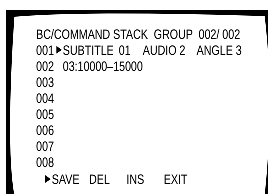
- つぎのグループの最初のステップの入力画面になります。
- ここから、次のグループのバーコードスタック／コマンドスタックの設定ができます。

DVD

グループの切り換えかた







1. MEMORY **を押す。**

- **BARCODE/COMMAND** と表示します。

2. ENTER **を押す。**

- バーコード／コマンドスタック画面になります。

3. ◀ **または** ▶ **で NO を選び** ENTER **を押す。**

- ENTER を押すと、バーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

4. DISPLAY **を押す。**

- リスト表示になります。

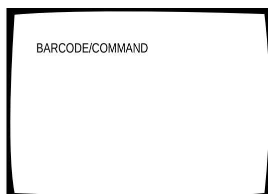
5. NEXT ▶▶| **または** PREV |◀◀ **を押す。**

- NEXT ▶▶| は、つぎのグループへ切り換わります。
- PREV |◀◀ は、前のグループへ切り換わります。

DVD

グループの削除のしかた

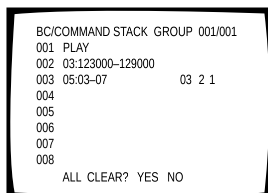
1



1. MEMORY **を押す。**

- **BARCODE/COMMAND** と表示します。

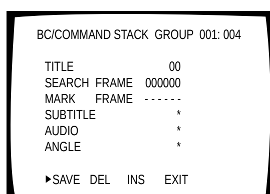
2



2. ENTER **を押す。**

- バーコードスタック／コマンドスタック画面になります。

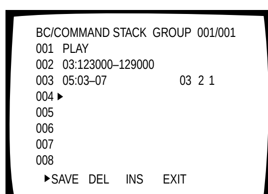
3



3. ◀ **または** ▶ **で NO を選び** ENTER **を押す。**

- ENTER を押すと、バーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

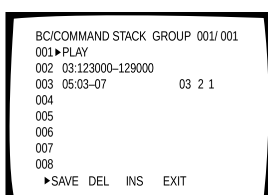
4



4. DISPLAY を押す。

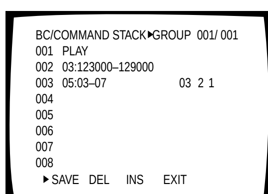
- リスト表示になります。

5



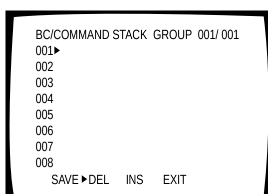
5. 削除するグループを NEXT または PREV で選ぶ。

6



6. ▲ を押し、1行目の GROUP に ▶（ポインタ）を合わせる。

7-8

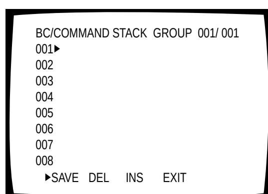


7. カーソル ▶ 右ボタンで、DEL に ▶（ポインタ）を合わせる。

8. ENTER を押す。

- 選んだグループを削除します。

9



9. カーソル ▶ 右ボタンで SAVE に ▶（ポインタ）を合わせ、ENTER を押す。

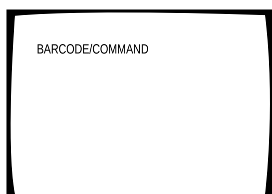
重要

削除の操作で、手順8まで操作した後でも、カーソル ▶ 右ボタンを押して、**EXIT** に ▶（ポインタ）を合わせ、ENTER を押すと、削除されません。手順9で SAVE の操作をしたときに記憶します。

DVD

入力済みのグループの分割のしかた

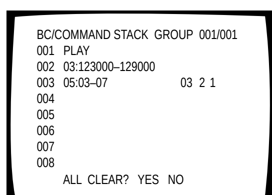
1



1. MEMORY を押す。

- **BARCODE/COMMAND** と表示します。

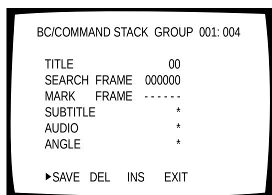
2



2. ENTER を押す。

- バーコードスタック／コマンドスタック画面になります。

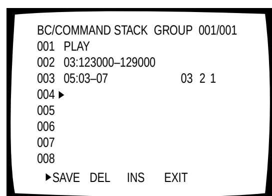
3



3. ◀ または ▶ で NO を選び ENTER を押す。

- ENTER を押すと、バーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

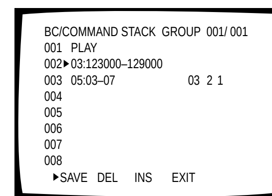
4



4. DISPLAY を押す。

- リスト表示になります。

5



5. ▲ または ▼ で分割するステップを選ぶ。

- ▶（ポインタ）を分割して作るグループの最初のステップに合わせます。

バーコードスタック／コマンドスタックのグループ化

6

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  001/ 001
001   PLAY
002▶03:123000–129000
003   05:03–07                    03  2  1
004
005
006
007
008
   SAVE   DEL  ▶INS     EXIT
```

6. [◀] **または** [▶] **で▶（ポインタ）をINSに合わせる。**

7

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  001/ 001
001   PLAY
002▶
003   03:123000–129000
004   05:03–07                    03  2  1
005
006
007
008
   SAVE   DEL  ▶INS     EXIT
```

7. ENTER [ ] **を押す。**

- 選んだステップが空き、以降のステップ番号がひとつずつ繰り下がります。

8

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  002: 001

  TITLE                          03
  SEARCH  FRAME    123000
  MARK      FRAME    129000


   SAVE   DEL  ▶INS     EXIT
```

8. NEXT [▶▶|] **を押す。**

- グループを分割します。
- 新しいグループが作られました。
  新しく作られたグループの最初のステップのバーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

9

```
BC/COMMAND STACK  GROUP  002: 001

  TITLE                          03
  SEARCH  FRAME    123000
  MARK      FRAME    129000


  ▶SAVE   DEL    INS     EXIT
```

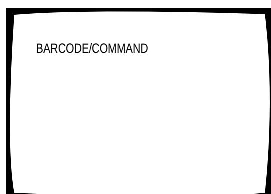
9. **カーソル** [▶] **右ボタンでSAVEに▶（ポインタ）を合わせ、** ENTER [ ] **を押す。**

重要

分割の操作で、手順8まで操作した後でも、[◀] を押して、**EXIT**に▶（ポインタ）を合わせ、ENTER [ ] を押すと、分割されません。手順9でSAVEの操作をしたときに記憶します。

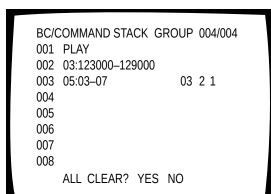
DVD

グループの統合のしかた

1


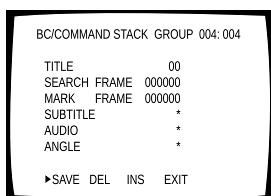
1. MEMORY を押す。

- **BARCODE/COMMAND** と表示します。

2


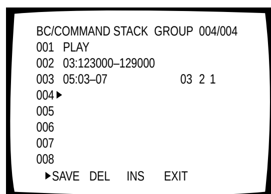
2. ENTER を押す。

- バーコードスタック／コマンドスタック画面になります。

3


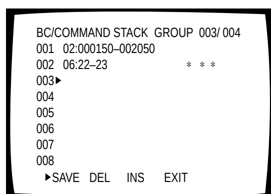
3. ◀ または ▶ で NO を選び ENTER を押す。

- ENTER を押すと、バーコードスタック／コマンドスタック入力画面になります。

4


4. DISPLAY を押す。

- 設定済みの最後のグループのリスト表示になります。

5


5. PREV ⏮ でグループを変更する。

- ▲ または ▼ で設定済みの番号の次のステップに▶（ポインタ）を合わせます。
  ここにグループの区切りがあります。

応用操作

6

BC/COMMAND STACK GROUP 003/ 004
001 02:000150–002050
002 06:22–23 ＊＊＊
003▶
004
005
006
007
008
SAVE ▶DEL INS EXIT

6. カーソル ▶ 右ボタンで、DELに▶（ポインタ）を合わせる。

7

BC/COMMAND STACK GROUP 003/ 003
001 02:000150–002050
002 06:22–23 ＊＊＊
003▶PLAY
004 03:123000–129000
005 05:03–07 03 2 1
006
007
008
SAVE ▶DEL INS EXIT

7. ENTER を押す。

- グループの区切りを削除し、後ろのグループと統合します。
- 元のグループ以降のグループは、番号が 1 つずつ繰り上がります。

8

BC/COMMAND STACK GROUP 003/ 003
001 02:000150–002050
002 06:22–23 ＊＊＊
003▶PLAY
004 03:123000–129000
005 05:03–07 03 2 1
006
007
008
▶SAVE DEL INS EXIT

8. カーソル ▶ 右ボタンでSAVEに▶（ポインタ）を合わせ、ENTER を押す。

重要

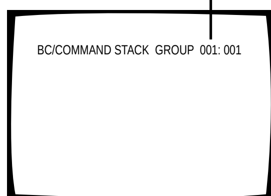
統合の操作で、手順7まで操作した後でも、カーソル ▶ 右ボタンを押して、**EXIT**に▶（ポインタ）を合わせ、ENTERを押すと、統合されません。手順 8 で SAVE の操作をしたときに記憶します。

バーコードスタック／コマンドスタックの使用方法

DVD

メモリーしたバーコードスタック／コマンドスタックの呼び出し／実行のしかた

コマンドグループを切り換える



リコール画面

グループを実行する場合

実行するディスクを入れます。

1. RECALL を押す。

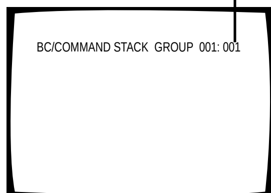
2. PREV を押す。

3. 呼び出し／実行するコマンドグループの番号を数字ボタンで選ぶ。

4. NEXT を 2 回押す。

- 設定したグループから実行します。

コマンドステップを切り換える



リコール画面

グループ内のステップを実行する場合

実行するディスクを入れます。

1. RECALL を押す。

2. PREV を押す。

3. 呼び出し／実行するコマンドグループの番号を数字ボタンで選ぶ。

4. NEXT を押す。

- グループの番号を入れ直したいときは PREV を押します。

5. 呼び出し／実行するステップの番号を数字ボタンで選ぶ。

6. NEXT を押す。

- 設定したグループ、ステップ目から実行します。

参考

- REPEAT を押すと、設定したグループの実行を繰り返し行います。
- 手順 6 で NEXT の代わりに STEP を押すと、1 ステップずつの実行になります。実行後、次のステップに進めるには、NEXT を押します。また、前のステップに戻るには、PREV を押します。

ご注意

プレーヤーコントロールパネル表示中はこのモードに入れません。

応用操作

DVD

入力済みのバーコードスタック／コマンドスタックの一覧を見ながら呼び出し／実行するには

1. RECALL **を押す。**

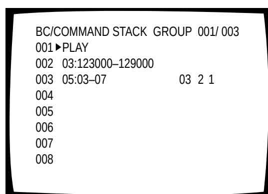
2. DISPLAY **を押す。**

- 一覧を表示します。

3. NEXT ⏭ **または** PREV ⏮ **でグループを選ぶ。**

- 実行するコマンドグループを選んでください。

4. ▲ **または** ▼ **でステップを選ぶ。**



- 実行を開始するコマンドステップを選んでください。また、ここでコマンドステップを 001 のままにすると、コマンドグループ全体を実行します。

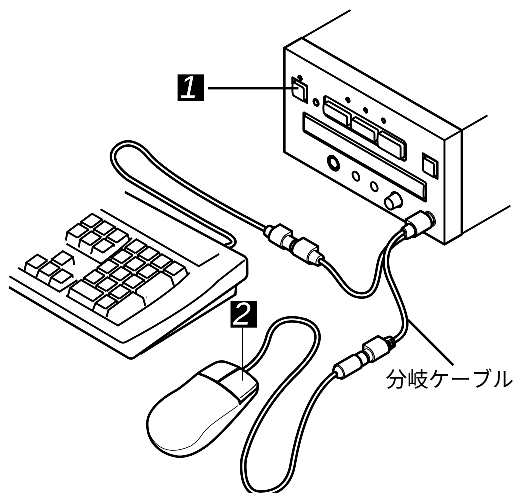
5. PLAY ▶ **または** STEP ⏯ **を押す。**

- PLAY ▶ は連続実行します。
- STEP ⏯ は、1 ステップずつ実行します。

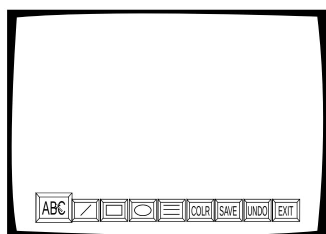
タイトルによっては､呼び出し／実行ができないことがあります。

例）チャプター・タイム等が画面に表示されないタイトルまたはサーチ機能が禁止されているディスクではサーチコマンドの実行はできません。

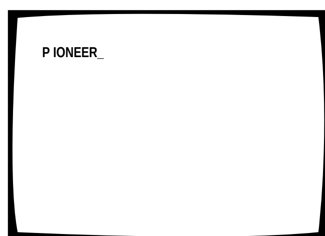
文字を入力／絵の描きかた(DVD ビデオブラックボード)



1-3

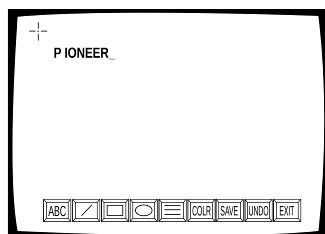


4



PIONEER と入力

5



ご注意

プレーヤーコントロールパネル表示中はこのモードに入れません。

本機は、ちょうど黒板に書くように文字や絵を描くことができます。これがブラックボード（黒板）機能です。ディスクの映像と合成して映しだしたり、単独で映しだすこともできます。

DVD

マウスおよびキーボードを使用する場合

本機の MOUSE/KEYBOARD 端子に PS/2 マウスまたは PS/2 キーボードを接続してご使用ください。(79 ページ)

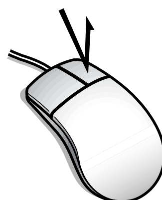
DVD

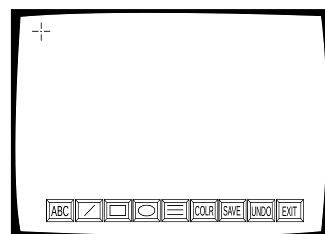
ブラックボード機能にするには

1 **電源を入れる。**

2 **右クリックするとブラックボード画面になります。**

ブラックボード画面





DVD

文字の入力のしかた

1. **ABC にカーソルを移動し、マウスボタンを左クリックする。**

2. **文字を入力する位置にカーソルを移動する。**
- 入力できる範囲にカーソルが移動するとIカーソルになります。

3. **マウスボタンを左クリックする。**
- __が点滅します。この場所から入力できます。

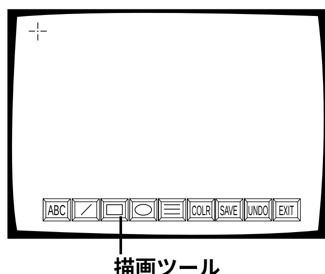
4. **文字を入力する。**
- **PC キーボードで入力できます。**
キーボードでは、数字・記号とアルファベット大文字／小文字を区別して入力でき、さらに改行もできます。

5. **入力を終了したら、マウスボタンを右クリックする。**
- ブラックボード画面に戻ります。
- 保存するときは、73 ページの**「文字や絵の保存のしかた」**を参照してください。

応用操作

DVD

描画ツールの使い方



- マウスの左ボタンで下図のアイコンを選択して使用します。

(LINE)： 直線を描くツールです。

(BOX)： クリックするごとに四角線、中塗の四角、外塗の四角を描くツールに切り換えできます。

： 内側を塗りつぶします。

： 外側を塗りつぶします。

(ROUND)

： クリックするごとに楕円線、中塗の楕円、外塗の楕円を描くツールに切り換えできます。

： 内側を塗りつぶします。

： 外側を塗りつぶします。

： クリックするごとに描く線の太さを細、中、太に切り換えできます。

COLR **： クリックするごとに、赤(RED)、青(BLU)、緑(GRN)、黄(YLW)、白(WHT)、黒(BLK)、灰（GRY)、紫(PUR)に切り換えできます。**

SAVE **： 描いた絵を保存します。**
保存のしかたは、73 ページを参照ください。

UNDO **： 描いた絵を取り消します。クリックするごとに、以前に描いた絵を取り消します。**
マウスで 1 秒以上押すと、画面上で描画してある絵が全て消えます。

EXIT **： クリックすると、この画面を終了します。**

ご注意

- リモコンでも ▲ ▼ ▶ ◀ と ENTER を操作することにより同様の操作ができます。
- ディスクに収録されているメニューを表示しているときは、ブラックボード機能になりません。

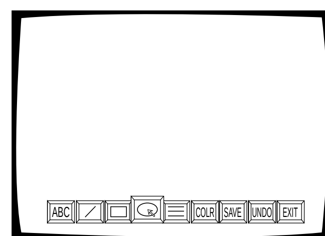
DVD

描画のしかた

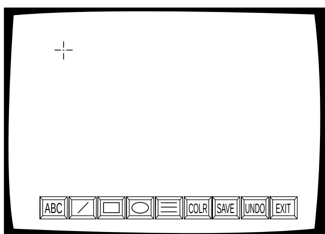
描画を始める位置でマウスの左ボタンを押し（マウスは離さない）カーソルを移動します。（これを「ドラッグする」といいます。）

1. **描画ツールを選択する。**
2. **描画を始める位置にカーソルを移動する。**
3. **ドラッグする**
   - このとき、描画します。
4. **マウスから指を離す**
   - 以上の繰り返しを行います。

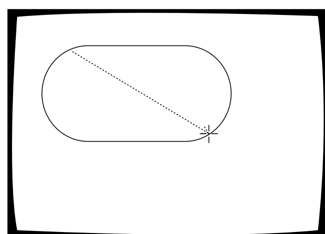
1



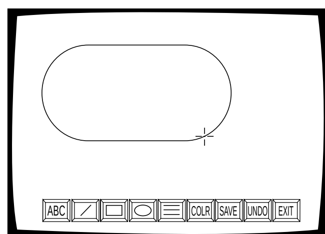
2



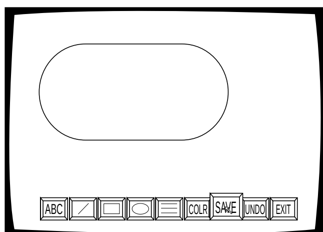
3



4



1



2-4

GROUP 001 NEXT
DISPLAY AREA IN OUT
AUTO DISP SAVE DEL EXIT

5

GROUP 001
001▶R–3, RED 02-015.29~015.36 A
AUTO DISP SAVE DEL EXIT

6

GROUP 001
001▶R–3, RED 02-015.29~015.36 A
AUTO DISP SAVE DEL EXIT

DVD

文字や絵の保存のしかた

1. 画面の SAVE をクリックする。

- 保存画面になります。

2. ディスクの映像に合成して表示を始める映像に合わせる。

- IN が点滅します。
- 左下のプレーヤー・コントロールアイコンを操作して、合成する映像に合わせます。

3. 画面の SAVE をクリックする。

- 表示開始位置が決まります。
- OUT の点滅に変わります。

4. ディスクの映像に合成して表示を終了する映像に合わせる。

- 左下のプレーヤー・コントロールアイコンを操作して、合成する映像に合わせます。

5. 画面の AUTO DISP をクリックする。

- 表示終了位置が決まります。
- 本機に記憶します。
- グループと記憶したステップを表示します。

6. EXIT をクリックする。

- ブラックボード画面に戻ります。

参考

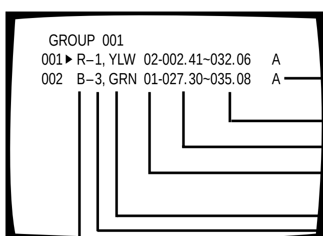
- ディスクを再生せずに文字、絵の保存を行うと、実行したいときに任意の場面で絵を表示させることができます。(実行のしかたは、75 ページを参照ください。)
- 保存したデータは電源を切っても消えることはありません。

ご注意

- IN（開始）点、OUT（終了）点の設定は、同じタイトル内での設定のみ有効です。また、IN/OUT点の時間が（ ）または［ ］でくくられて表示されるタイトルでは、正常に動作しない場合があります。ご使用前に動作を十分にお確かめください。
- リモコンでも ▲ ▼ ◀ ▶ と ENTER を操作することにより同様の操作ができます。

DVD

ブラックボードの一覧表示



表示モード（次ページ）
表示終了の分秒
表示開始の分秒
表示タイトル

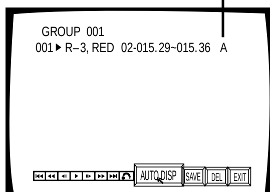
RED: 赤色
BLU: 青色
GRN: 緑色
YLW: 黄色
WHT: 白色
BLK: 黒色
GRY: 灰色
PUR: 紫色

1: 線幅細
2: 線幅中
3: 線幅太
i: 中塗り
o: 外塗り

L: 線
B: 四角
R: 楕円

応用操作

右端の表示



ご注意

●図形を描写するのに時間がかかりますので、映像の一部を隠される目的でご使用される場合は目的のシーンの充分前に描画のIN点を設定する必要があります。描画図形の種類や描画の数により、描画時間は異なります。10～30フレームを目安としてお考えください。

●となりあったフレームに別の図形を記録しても、連続再生では描画スピードの関係により、描画されないことがあります。

●逆方向にコマ送りまたはリバース再生した場合は、設定した通りの動作は行いません。

DVD

表示モード変更のしかた

1. **変更する行にカーソルを移動し、マウスの左ボタンをクリックする。**
2. **カーソルを AUTO DISP に合わせマウスの左ボタンをクリックする。**

● クリックするごとに次の順番に変更できます。

右端の表示について

A ：設定した開始点から終了点までディスク再生と同時に表示します。

A S ：設定した開始点で静止画（スティル）となります。

- A S ：設定した開始点の直前で静止画になります。

表示なし： 設定した文字や絵の表示はしません。
設定した区間で ENTER を押すと、描画を始めます。

S ：設定した開始点で静止画になりますが､表示はしません。リモコンの ENTER を押すと、描画を始めます。

＊ ：画面の右上に＊（ポインタ）を表示します。その区間でリモコンの ENTER を押すと、描画を始めます。

＊ S ：設定した開始点で､＊マークのみ表示の静止画になります。リモコンの ENTER を押すと、描画を始めます。

表示の意味について

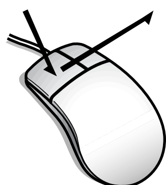
「S」は Still（静止画）の意味です。IN 点で静止画再生します。
「A」は AUTO DISP で設定した画面で表示します。
「＊」は＊マークだけ表示します。
「-」 は IN 点の開始直前で静止画になります。

DVD

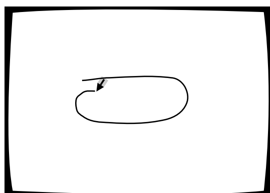
鉛筆ツールについて(ポインティングツール)

ビデオブラックボード入力画面からマウスを右クリックすると、鉛筆ツールになります。左ボタンを押しながら、自由に描けます。もう一度、右クリックすると、ブラックボード画面に戻ります。色や線幅を変えるには、ブラックボード画面の COLR 、 ツールで変えてください。72ページ「描画ツールの使い方」を参照してください。

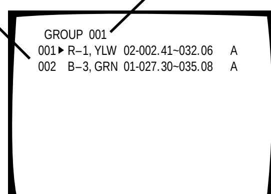
ご注意
この鉛筆ツールで描いたものは、描画のみで、保存できません。



左ボタンを押しながら、描く。



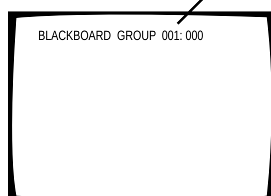
ビデオブラックボードのグループ化



DVD

ブラックボードのグループ化

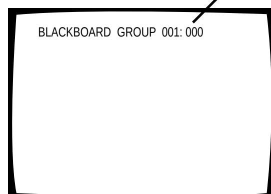
ブラックボードでは、ディスクやタイトルに応じて場合分けした使用ができるようにグループ分けして登録できます。グループごとに描画した文字や絵を再生映像に合わせた位置に記憶しておくことができます。
また、グループを構成しているそれぞれの図形や文字はステップとして記憶します。
実行するときには､これらのグループの中から任意のステップを選択して表示させることができます。また、グループは削除することもできます。
グループを選択するには以下のように行います。
画面に "**DISPLAY AREA IN OUT**" が表示されているとき、または ▶（ポインタ）が **GROUP** の左に表示されるとき、**NEXT**、**PREV** をマウスでクリックすることで任意のグループを選ぶことができます。グループを選択して､画面の SAVE をクリックするとそのグループに入ることができます。



DVD

グループを選ぶ場合

1. RECALL を 2 回押す。
   - ステップ部が点滅します。
   - ステップ部は 000 のままにします。
   - ステップ部が 000 ではグループ全体を実行します。
   - ステップを選ぶとグループ内の選んだステップのみ実行します。
2. PREV を押す。
   - グループ部が点滅します。
3. 呼び出し／実行するグループの番号を数字ボタンで選ぶ。
4. NEXT を 2 回押す。
   - 設定したブラックボードにしたがって実行します。

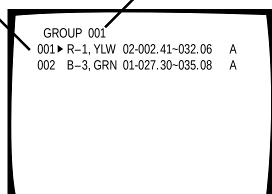


DVD

グループ内のステップを実行する場合

1. RECALL を 2 回押す。
2. グループを変える場合、PREV を押す。
   - グループを変えない場合は手順 5 へ進んでください。
3. 呼び出し／実行するグループの番号を数字ボタンで選ぶ。
4. NEXT を押す。
5. 呼び出し／実行するステップの番号を数字で選ぶ。
6. NEXT を押す。
   - 設定したグループ、ステップ目を実行します。
   - 一度実行するとステップの設定は解除されます。

ご注意
プレーヤーコントロールパネル表示中はこのモードに入れません。



DVD

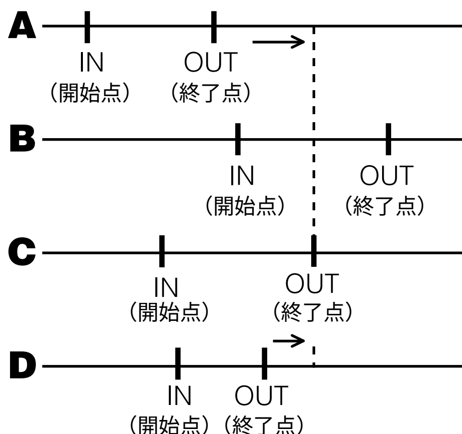
入力済みのブラックボードの一覧を見ながら呼び出し／実行するには

1. RECALL を 2 回押す。
2. DISPLAY を押す。
   - 一覧を表示します。
3. NEXT または PREV でグループを選ぶ。
4. ▲ または ▼ でステップを選ぶ。
5. ENTER を押す。

参考

表示中の文字や絵を消すときは、CLEAR を押します。ただし、AUTO DISP で設定した文字や絵は CLEAR では消えません。

例



呼び出した文字や絵の表示について

1 つのグループ全体を実行する場合で呼び出した文字や絵の表示は登録した順序ではなく、設定された表示開始点が早い順に行われます。
また、文字や絵を表示中に別の文字や絵を表示する場合、表示中の文字や絵の上に重なって表示し、全ての表示している文字や絵は、設定された表示終了点が一番遅いところまで表示されます。

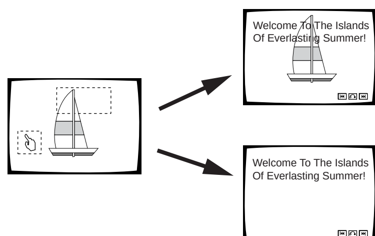
A と B を表示する場合：	図の A の表示を終了して、図 B を表示する。
A と C を表示する場合：	図の A の表示中に図 C を重ねて表示し、図 C の終了点で図 A の表示が終了する。
C と D を表示する場合：	図の C の表示中に図 D を重ねて表示し、図 C の終了点で図 C と D の表示が終了する。

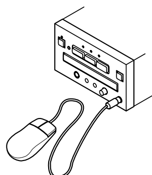
ビデオテキスト機能

DVD

本機は、DVD-Video ディスク内にテキストファイルが書きこまれたディスクを再生することができます。
この機能により、DVD-Video再生画面に貼り付けられたボタンをマウスでクリックすることで、ボタンに対応したテキストファイルを再生画面上、または画面上に表示することができます。

- 「ビデオテキスト機能」対応のディスクで上記機能が実現できます。一般の DVD-Video ディスクではテキストファイルは収録されていませんので、この機能は働きません。
- この「ビデオテキスト機能」は、弊社オリジナルフォーマットです。





ご注意
テキストファイルから DVD-Video の再生画面へ戻ると、初めにボタンをクリックした画面より、前へ戻ります。

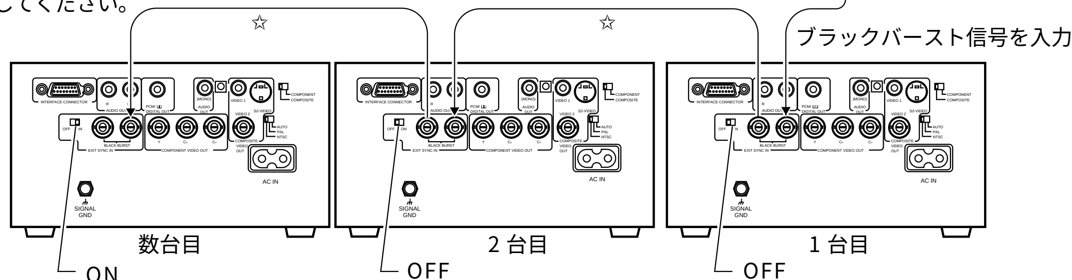
外部同期機能

DVD

この機能をONにするためには、ADV.SETUPメニューのEXTERNAL SYNCの項目をOFF（初期設定）から、再生するディスクにあわせてNTSCまたはPALに設定してください。なお、リア部のTVシステムスイッチも同様に、再生するディスクにあわせてNTSCまたはPALに設定してください。
DVD-V730は外部から同期信号（ブラックバースト）を入力することにより、映像信号出力を外部信号に同期させることが可能です。（DVD 再生以外は外部同期は働きません。）
この機能により、TBC（タイムベースコレクタ）等の機器を接続しなくても映像の切り換えタイミングを合わせることができ、テレビに映像の乱れ（V ロール）を起こさせずに切り換えることができます。

2 台以上のプレーヤーを同期をかけて使用する場合

- 1 台のシンクジェネレーターで、2 台以上のプレーヤーに同期信号を入力して使用する場合です。
- 末端のプレーヤーはターミネートスイッチをON、その他のプレーヤーはターミネートスイッチを必ず OFF に設定してください。
- 1 台のプレーヤーに同期をかける場合、ターミネートスイッチを ON に設定してください。



☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

ご注意

- 外部同期機能を ON にすると DVD 以外のディスクの再生は行えません。
- ブラックバースト信号のサブキャリア成分にはロックしません。
- 外部同期信号にロックするまでの約 5 秒間は、各ビデオ出力端子の映像が乱れます。
- 外部同期信号は DVD を再生する前に入力してください。再生が始まってから入力しても動作しません。
- 2 台以上の DVD-V730 に外部同期をかけて映像を同時にスタートさせ、フレーム単位で同期をとって再生する場合には、ADV.SETUP メニューの AV SYNC COMPENSATE の項目を OFF に設定してご使用ください。

再生 / 通電時間の表示

DVD **Video CD** **CD**

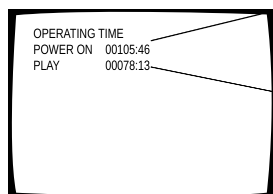
本機では､稼働状況やメンテナンス時間を知るために再生時間と通電時間を表示させることができます。

再生時間･通電時間の表示のさせかたは以下のようにします。

1. **電源を入れる前に本体の DISPLAY ◯ を押しながら、⏻ を押します。**

STANDBY ON

2. **画面に以下の表示をします。**



通電時間を表し、105時間46分です。

再生時間を表し、78時間13分です。

3. **他の操作（例えばリモコンの再生ボタンを押す）を行うと時間表示の画面は消え通常動作となります。**

ご注意

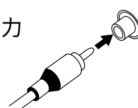
●計測には、CPUクロックを使用しているため、精度は2%程度の誤差を含みます。
●再生 / 通電時間を 0 に戻すことはできません。

接続のしかた

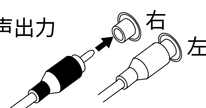
本機の接続に関する注意

本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。本機をVTRを通してテレビに接続したりVTRで録画や再生をすると、正常な再生画像が得られない場合があります。

映像出力

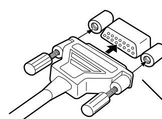


音声出力



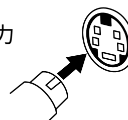
● 端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続します。

インターフェースコネクター（RS-232C）



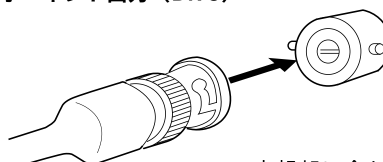
● 端子の形状を合わせて差し込み、ネジを締めて固定します。

S2 映像出力



● S2 映像入力のあるテレビへは、本機の S2 映像出力端子と接続できます。

外部同期入力（BNC）／映像出力（BNC）／コンポーネント出力（BNC）

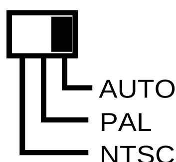


● 突起部に合わせて差し込み、右へ回して固定します。

☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

TV SYSTEM スイッチについて

ディスクを再生するとき、ディスクに記録されている形式に合わせて自動的にTV信号形式が切り換わります。ビデオCDの場合、NTSC→PAL、PAL→NTSCのどちらにも変換できます。DVDの場合、NTSC→PALには変換できますが、PAL→NTSCには変換できません。TV SYSTEMがAUTOになっているとき、DVD、ビデオCD再生中は、下の表の通りに変換されて出力します。CD 再生中、またはディスクが入っていないときは、前回出力したときと同じ方式で出力されます。



再生中のディスク		TV信号形式		
		TV SYSTEM スイッチの位置		
種類	記録形式	NTSC	PAL	AUTO
DVD	NTSC	NTSC	MOD.PAL*	NTSC
	PAL	——	PAL	PAL
ビデオCD	NTSC	NTSC	MOD.PAL*	NTSC
	PAL	NTSC	PAL	PAL
CDまたはディスクが入っていないとき		NTSC	PAL	NTSC/PAL

*MOD. PAL(Modulation PAL)＝PAL形式のテレビに適合するように、NTSC形式の信号の周波数を変調したもの

MOD PALについて

最新のPALテレビは、入力された信号がPAL形式かNTSC形式かを自動的に識別し、垂直同期を調整するものがほとんどです。そういったテレビの場合は、垂直方向に画像が縮むことなく映し出されます。
テレビによっては、画像が垂直方向に縮み、上下に黒い帯がでることがあります。これは、NTSC形式からPAL形式(MOD PAL)に変換するために発生したことで、故障ではありません。

もしお手持ちのPALテレビにV-Hold機能がついていないときは、NTSC形式で記録されたディスクを再生することはできません。（再生しようとすると、映像が垂直方向にブレて出力されます。）
V-Hold機能付きのテレビで再生しているにもかかわらず、垂直方向画像がブレるときは、ブレがおさまるまでテレビの垂直同期を調整してください。

マウスおよびキーボードの接続

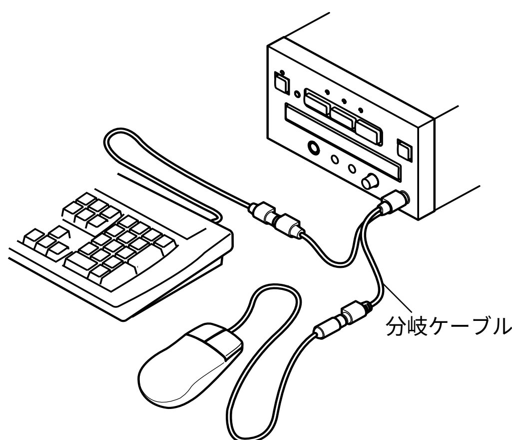
本機のMOUSE/KEYBOARD端子に市販のPS/2マウスまたはPS/2キーボードを接続して使用する場合、以下のように行います。

1. 本体の電源をスタンバイ状態にする。

2. PS/2マウスまたはPS/2キーボードを本体のMOUSE/KEYBOARD端子に接続します。

3. 本体の電源をONにする。

これで終了です。

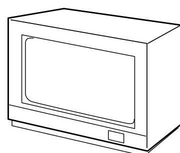


マウスとキーボードを両方使用する場合、本機のMOUSE/KEYBOARD端子に市販の分岐ケーブルを使用してください。

ご注意
- 本機のMOUSE/KEYBOARD端子の電源の定格は5V 100mA以下となっています。定格100mAを越えるマウスおよびキーボードを接続しないでください。
- 市販のPS/2マウス、PS/2キーボード、分岐ケーブルは種類によっては本機で使用できないものがあります。詳しくは、当社営業窓口にお問い合わせください。

接続例 1

- テレビ（モニターテレビ）
- コントロール用コンピューター
- シンクジェネレーター



テレビ（モニターテレビ）に本機を直接つないで、ディスク再生をする場合の接続方法です。

●接続するテレビ（モニターテレビ）の取扱説明書も合わせてご覧ください。

パーソナル
コンピューター

どちらか一方
を接続します

音声入力（L、R）

テレビ（モニターテレビ）の場合

音声入力
（モノラル）

映像入力
（ピン）

S映像
入力（S）

映像入力
（BNC）

どれか一つを
接続します

RS-232C
☆

☆

☆

☆

INTERFACE CONNECTOR
R
L
AUDIO OUT
PCM/
DIGITAL OUT
(MONO)
AUDIO
OUT
VIDEO 1
S2-VIDEO
COMPONENT
COMPOSITE

“ COMPOSITE ”
にしてください。

プレーヤー１台で使用する場合と他の機器を全く接続しない場合はスイッチを“ ON ”にしてください。

OFF ON
BLACK BURST
EXIT SYNC IN
Y
C_B
C_R
COMPONENT VIDEO OUT
VIDEO 2
COMPOSITE
VIDEO
OUT
AUTO
PAL
NTSC
TV SYSTEM
AC IN

SIGNAL
GND

☆

同期信号
出力端子

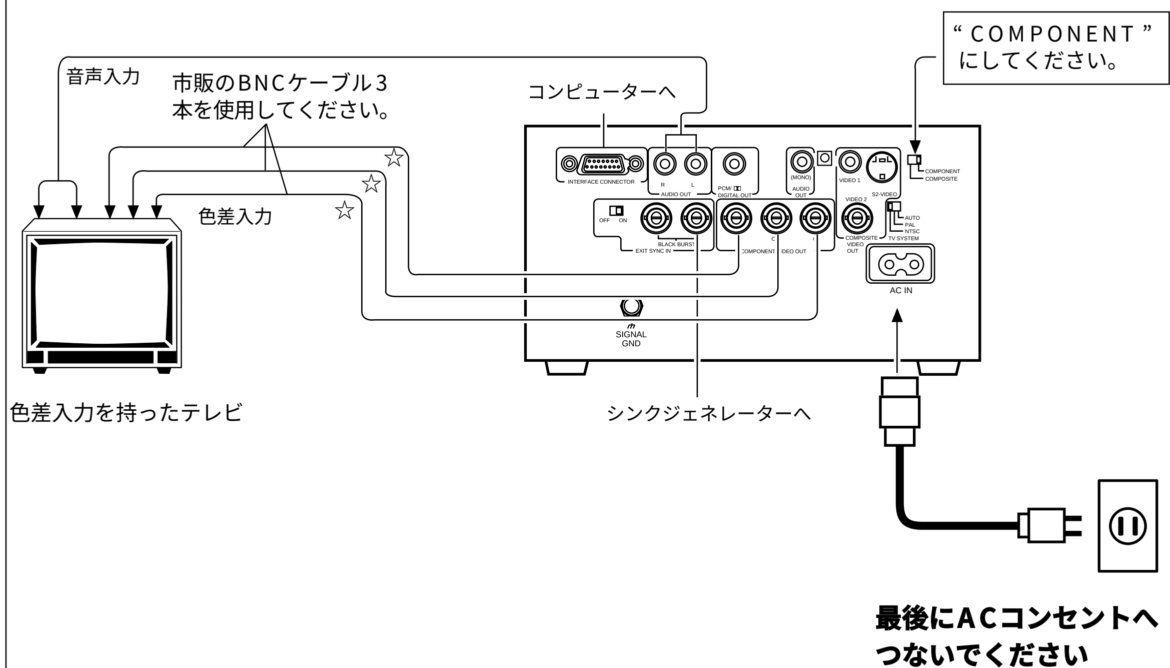
**最後にACコンセントへ
つないでください**

☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

色差入力端子を持ったテレビを使用する場合

●色差入力端子の名称はテレビによって異なります。
●画像の色が薄くなったり、色相が変わったりしたときはテレビ側で
　調整してください。

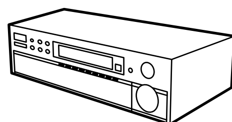
ハイビジョンテレビの色差入力（Y 、P B、P R）とは接続できません。



**最後にACコンセントへ
つないでください**

☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

接続など

接続例 2 **ドルビーデジタル用のデジタル入力端子がある AV アンプ**		ドルビーデジタル入力のあるアンプに接続する場合です。

- 当社のAVデジタルサラウンドアンプVSA-D10TXやVSA-D8TX、NSA-D6と組み合わせるときはこの接続を行ってください。
- 本機のデジタル出力PCM/ DD 端子とドルビーデジタル対応アンプのドルビーデジタル入力端子へ接続します。同軸デジタル接続で使用します。

VSA-D10TX

DVD/LD AUDIO IN

PCM/ DD / DTS

DVD/LD VIDEO IN

☆

INTERFACE CONNECTOR

AUDIO OUT

DIGITAL OUT

VIDEO 1

S2-VIDEO

COMPONENT

COMPOSITE

BLACK BURST

EXIT SYNC IN

COMPONENT VIDEO OUT

COMPOSITE VIDEO OUT

TV SYSTEM

AC IN

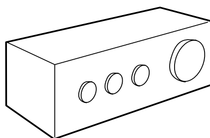
SIGNAL GND

最後にACコンセントへつないでください

☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

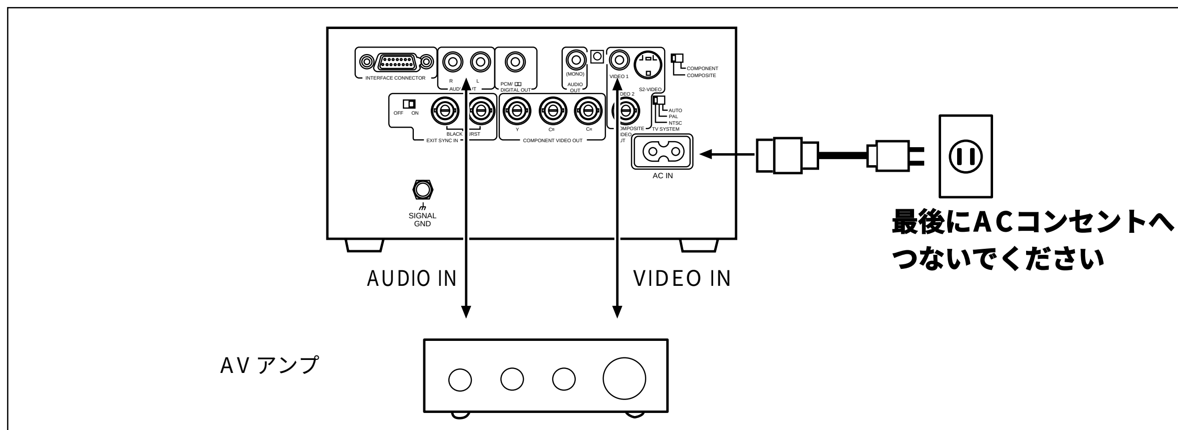
- PCM音声が出力されないときは、PCMの音源を96kHzでデジタル出力することを禁止しているディスクを再生していると考えられます。こういったディスクを再生するときは、SETUPメニューの[96kHz PCM Out] の設定を[96kHz ►48kHz]にしてください。（35 ページ参照）

接続例 3
AV アンプ



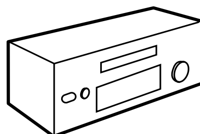
通常の AV アンプやステレオアンプに接続すると、ディスクの音量をより良い音質で再生することができます。

- 本機の音声出力端子とアンプの CD、LD、AUX などの音声入力端子を接続します。
  (PHONO 端子には接続しないでください)
- 本機の映像出力端子とアンプの映像入力端子を接続します。



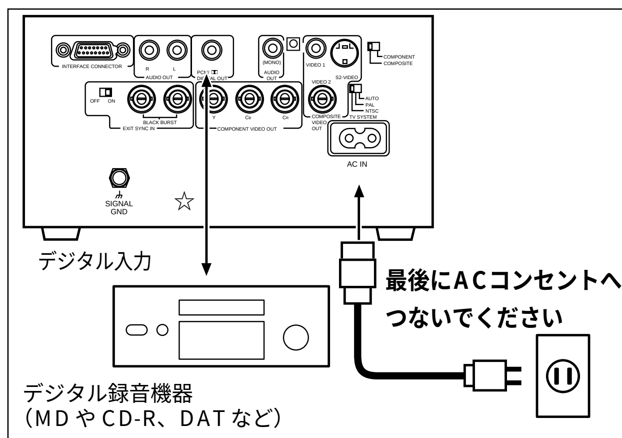
- ドルビープロロジックデコーダを搭載したアンプでは、サラウンドを楽しむことができます。
- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

接続例 4
デジタル録音機器



MDやCD-R、DATなどの録音機器を接続することができます。

- デジタル出力(コアキシャル)の接続をします。
- デジタル録音機器側のデジタル入力端子と DVD プレーヤーの PCM/□□ 出力端子を接続します。



ご注意

ドルビーデジタル対応のＤＶＤを録音するときは、「Dolby Digital Out」(34ページ)を[Dolby Digital ► PCM]に設定してください。DVDがドルビーデジタルで記録されている場合、[Dolby Digital]のままでは、ノイズを録音してしまいます。

☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

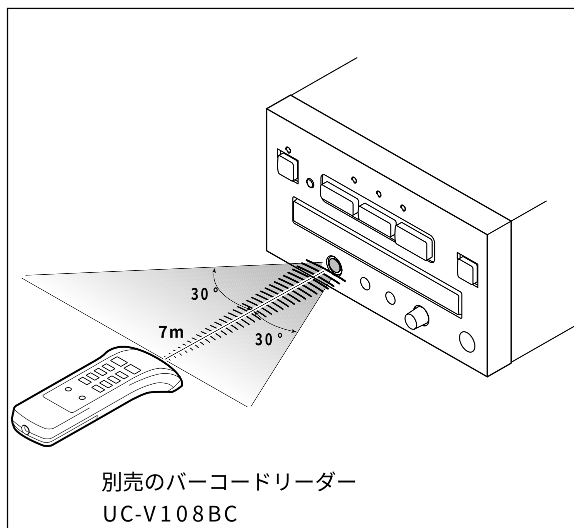
別売のレーザーバーコードリーダーの使いかた

別売のレーザーバーコードリーダー UC-V108BC、UC-V109BCからワイヤードモードで信号を送るときは、前面パネルの外部コントロール（EXT.CONT）端子にレーザーバーコードリーダーの接続コードをつなぎます。
ワイヤレスモードで信号を送るときは、プレーヤーのリモコン受光部へ向けて操作します。操作のしかたはレーザーバーコードリーダーの取扱説明書を参照してください。

ご注意

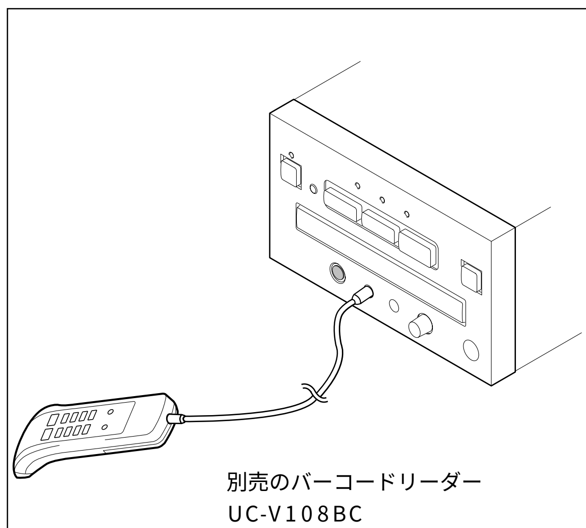
- レーザーバーコードリーダーによる操作中にリモコン、プレーヤーの操作ボタン、シリアルコマンドによりプレーヤーを操作すると、誤動作の原因となることがあります。バーコードリーダーをワイヤードで使用することで、リモコンの入力は無効となり、リモコンによる誤動作の防止となりますので、ワイヤードで使用することをお勧めします。
- プレーヤーをバーコードにより操作すると、OSD([Play][Stop]など、本機を操作したときの表示）は出ません。
- セットされているディスクがCDまたはビデオCDのとき、LDまたはDVD用バーコードの命令は無視されます。
- セットされているディスクがDVDのとき、CD用バーコードの命令は無視されます。

ワイヤレスの場合



別売のバーコードリーダー
UC-V108BC

ワイヤードの場合


別売のバーコードリーダー
UC-V108BC

困ったとき !?

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども併せてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。

電源が入らない

➡電源コードをコンセントに正しく接続してください（80～83ページ）。

ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう

➡ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください（10ページ）。
➡ディスクをクリーニングしてください(6ページ)。
➡リージョン No.が一致しているか確認してください(7、86ページ)。

画面が映らない

➡本体後面の映像出力切換スイッチの設定を、接続している映像端子と合わせてください(80、81ページ)。
➡接続が正しいか確認してください(78～83ページ)。
➡テレビまたはAVアンプなどの設定を、DVD再生の設定にしてください。

再生できない

➡ディスクをクリーニングしてください(6ページ)。
➡ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください（10ページ）。
➡本機の内部の結露を除去してください(6ページ)。
➡SECAM方式のディスクは再生できません。
➡ディスクを表裏正しく入れてください。

設定内容が消える

➡電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードは必ず本体の 電源スイッチ、またはリモコンの電源ボタンを押して、STANDBYインジケーターの色がオレンジ色になってから、抜いてください。

画面が止まり、操作ボタンを受け付けない

➡STOPを押してから、もう一度再生してください。

マークが画面に出る

➡ディスクがその操作を禁止しています(7ページ)。

マークが画面に出る

➡プレーヤーがその操作を禁止しています(7ページ)。

リモコンで操作できない

➡リモコンの使用範囲で操作してください(10ページ)。
➡リモコンの乾電池を新しいものと交換してください(4ページ)。

外部同期ができない

➡ADV.SETUPメニューのEXTERNAL SYNCの設定を参照してください。（42ページ）
➡外部同期機能（77ページ）の「ご注意」を確認してください。

スピーカーから音が出ない、音が歪む

➡音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください（78～83ページ）。
➡ディスクによっては、リニアPCM音声の96kHzデジタル出力を禁止しているものがあります。このようなディスクでは、SETUPメニューの[Audio1]の[96kHz PCM Out]の設定を「96kHz」にしていても、自動的に48kHzに変換して出力します。(35ページ)。
➡96kHz、16:9で記録されたDVDを再生中、[Video]の[4:3 (Letter Box)]を選択していると、[Audio1]の[96kHz PCM Out]の設定を[96kHz]にしていても、自動的に48kHzに変換して出力します(23ページ)。
➡ディスクをクリーニングしてください(6ページ)。
➡一時停止またはスロー再生になっていたら再生にしてください(15ページ)。
➡テレビまたはAVアンプなどの音量が「最小」になっている場合はボリュームを上げてください。
➡接続プラグの差し込み方が不十分、または外れていないか確認してください。
➡接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。

画面が縦または横に伸びている

➡[TV Screen]の設定を合わせてください（24ページ）。

DVDとCDで音量差を感じる

➡これはディスクの記録方式の違いによるものです。

DVD再生中に画像が乱れる、または暗い

➡本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクを再生した場合、一部画像に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。

DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる

➡本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。

テレビなどが誤動作する

➡ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

SETUPメニューを出したとき、レターボックスに設定していた画面が突然、縦長になる

➡レターボックスまたはパンスキャンで再生中にSETUPメニューを出すと、画面サイズが強制的にワイドに変換されますが、故障ではありません。（24ページ）

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となり、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

コンポーネント映像出力
Y/CB/CRの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
歪みなく信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル(dB)を使います。

ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。



プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高／標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語（8ストリーム）まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョン No.
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニア PCM
DVDの音声記録方式の1つです。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

DTS
Digital Theater Systemsの略です。DTSはドルビーデジタルと異なるサラウンドシステムの1つです。



F-Disc（エフディスク）
8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。
お問い合わせ先：（株）フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

PCM
Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CDのデジタル音声がPCMです。

S2 映像出力
S2とは映像のアスペクト比（4:3、16:9）と画像信号形態（レターボックス、パンスキャン）の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

5.1ch
フロント左/右、センター、リア左/右の5チャンネルに低音域専用の0.1チャンネルを加えたマルチチャンネル音声のことです。ドルビーデジタルやDTSといったサラウンドシステムで採用されています。

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間内の修理は保証書の裏面記載の無料修理規定に基づいて行います。

修理に関するご質問、ご相談は
お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるときは
85 ページに従って調べていただき、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容について：
- **品名　DVD プレーヤー**
- **品番　DVD-V730**
- **お買上げ日**
- **故障の状況「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」**
- **使用時間　（使用時間表示は78ページを参照してください。）**
- **ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」**
- **お名前**
- **電話番号**
- **訪問ご希望日**

保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

故障および故障の修理にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は、保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

仕様

一般
形式 .... DVD、ビデオ CD 及び コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
電源 .... AC100V、50/60Hz
消費電力 .... 15W（動作時）、0.4W（スタンバイ時）
質量 4.5kg
外形寸法 .... 210（幅）×412（奥行）×119（高さ）mm
環境
動作温湿度 .... ＋5℃～＋35℃、85％以下

映像出力
出力レベル .... 1Vp-p（75Ω負荷時、同期負）
映像出力端子 .... BNC コネクタ端子、RCA ピン端子

S2 映像出力
Y 出力レベル .... 1Vp-p（75Ω負荷時、同期負）
C 出力レベル .... 286mVp-p（75Ω負荷時）

色差出力
Y 出力レベル .... 1.0Vp-p（75Ω負荷時）BNC
CB 出力レベル .... 0.7Vp-p（75Ω負荷時）BNC
CR 出力レベル .... 0.7Vp-p（75Ω負荷時）BNC
S/N 60dB以上
水平解像度 .... 500 本以上

外部同期入力
入力信号レベル .... ブラックバースト 0.3Vp-p（75Ω負荷時） BNC コネクタ× 2（ループスルー）

音声出力
出力レベル .... 200mVrms（1KHz、－20dB）
チャンネル数 .... 2 チャンネル
デジタル音声特性（DVD fs ＝ 48KHz 時）
周波数特性 .. 4Hz～22kHz（DVD）、4Hz～20kHz（CD）
S/N .... 115 dB（EIAJ）
ダイナミックレンジ .... 98dB（EIAJ）
ワウ･フラッター .... ±0.001%W．PEAK以下（EIAJ）

その他の端子
同軸デジタル出力（PCM/DD）............ RCA ピン端子
RS-232Cインターフェース .... D-SUB 15Pin

付属品
オーディオコード 1
ビデオコード 1
電源コード 1
リモートコントロールユニット（リモコン）............ 1
単 3 形（R6P）乾電池 2
保証書 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
取扱説明書 1
安全上のご注意 1
バーコードシート 1

- 仕様の値はすべて標準値です。
- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※製品に関する情報のご案内
http://wwwbsc.pioneer.co.jp

愛情点検	長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電気が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様メモ

● おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年　月　日	型番	DVD-V730

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<99K00JF0G01>　<DRA1351-A>